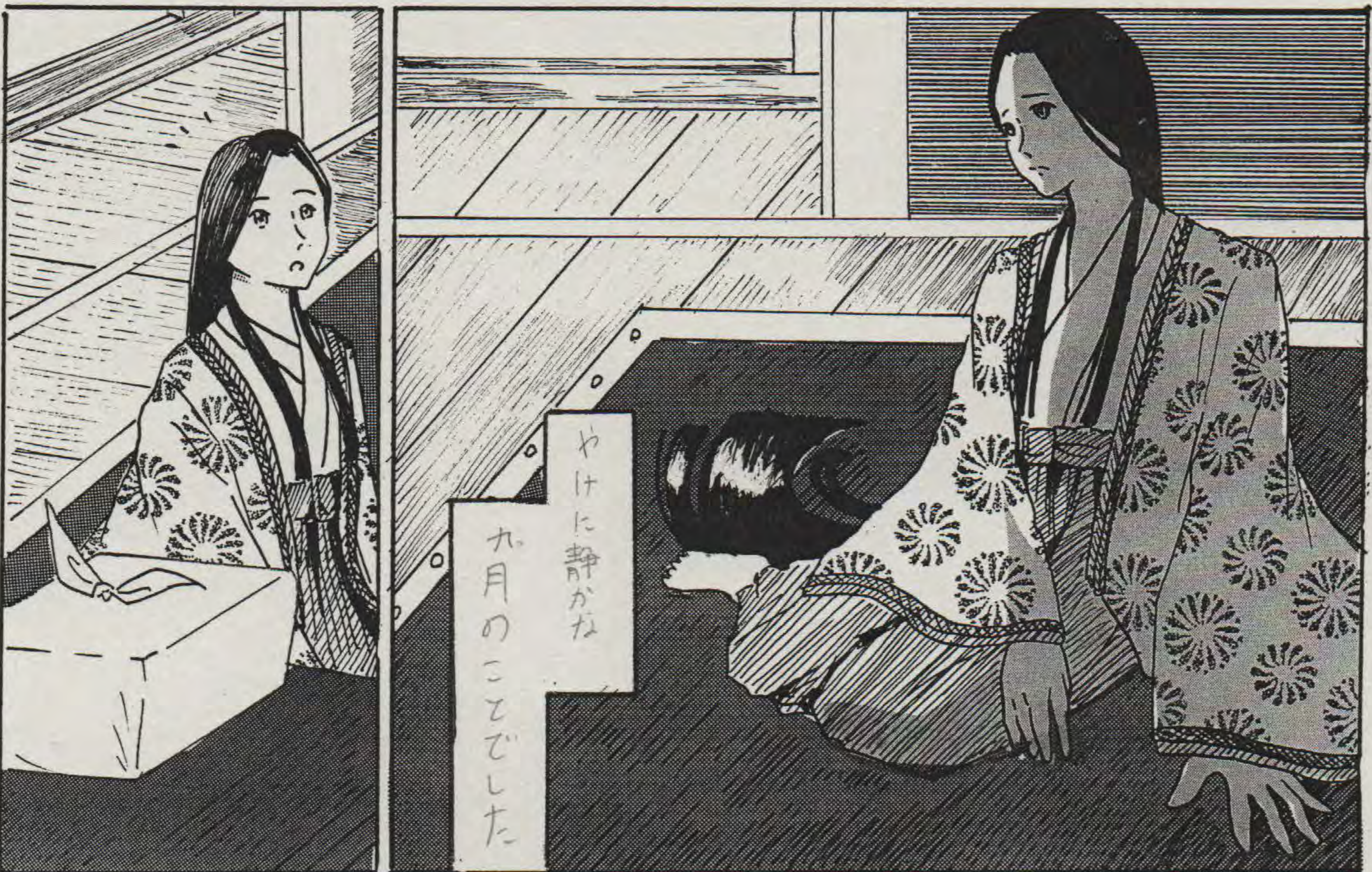
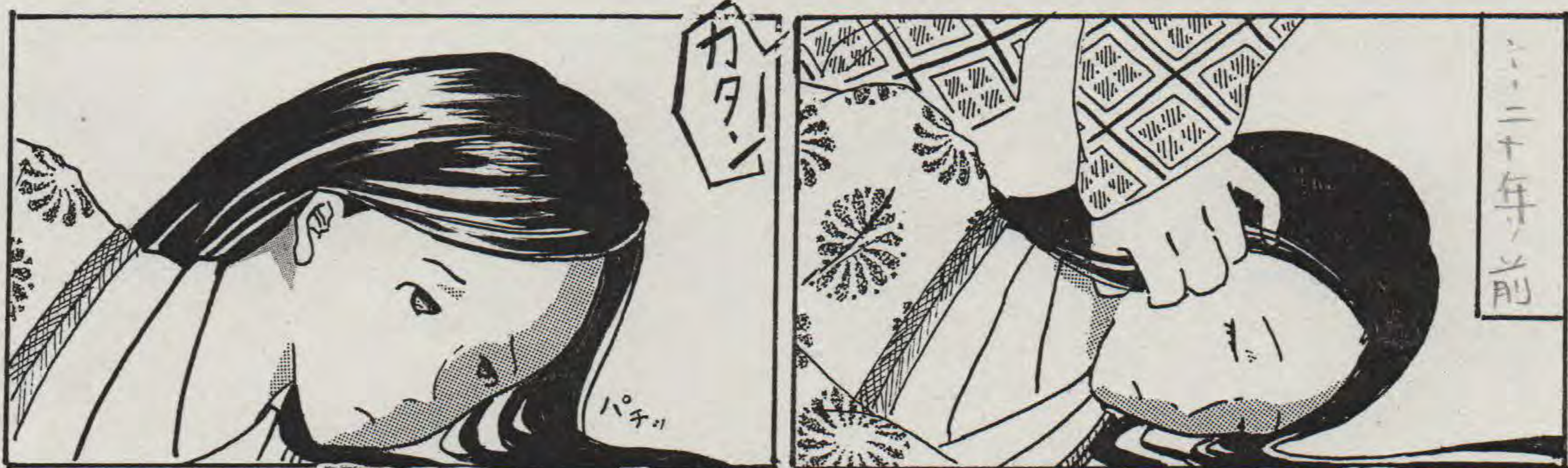


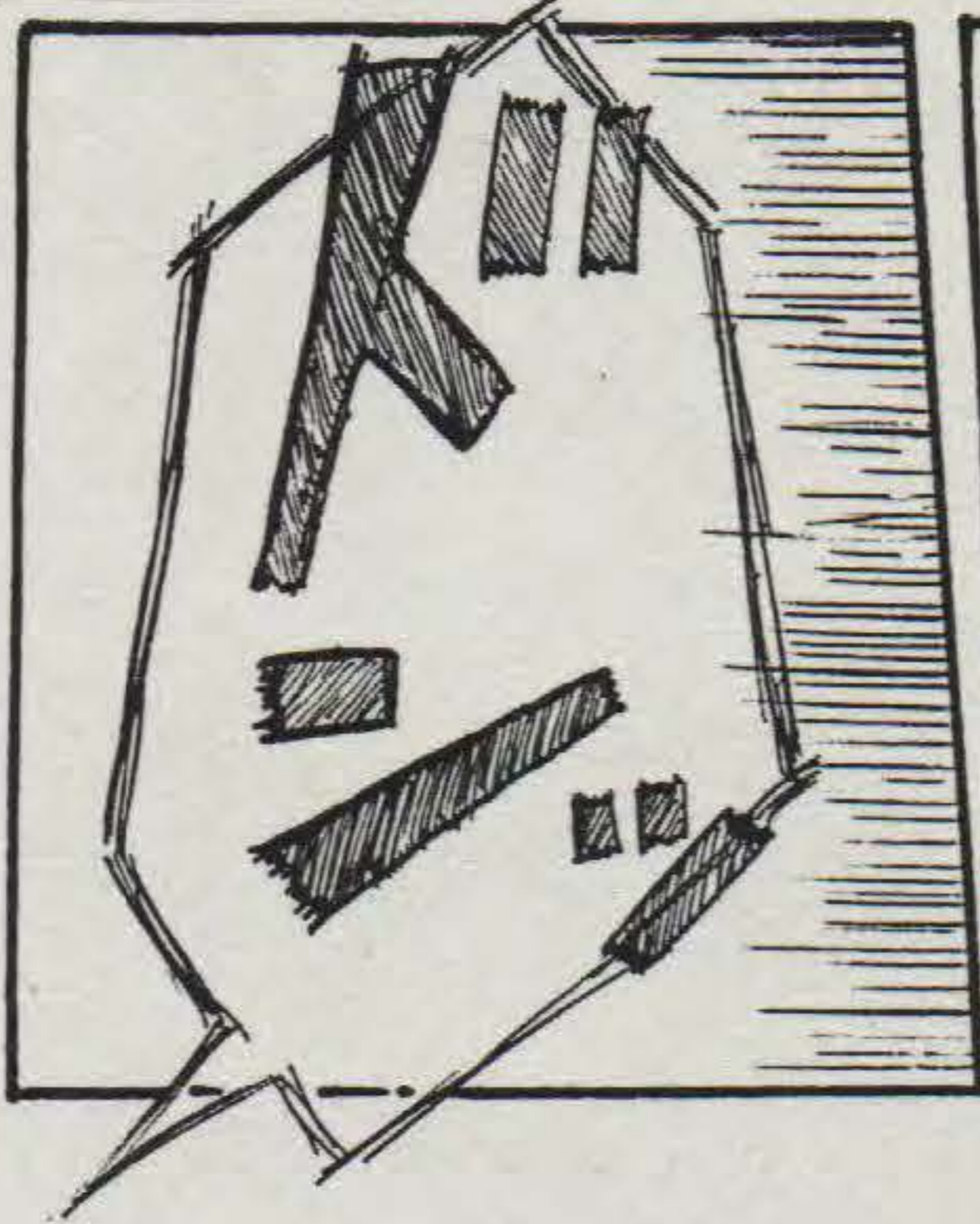
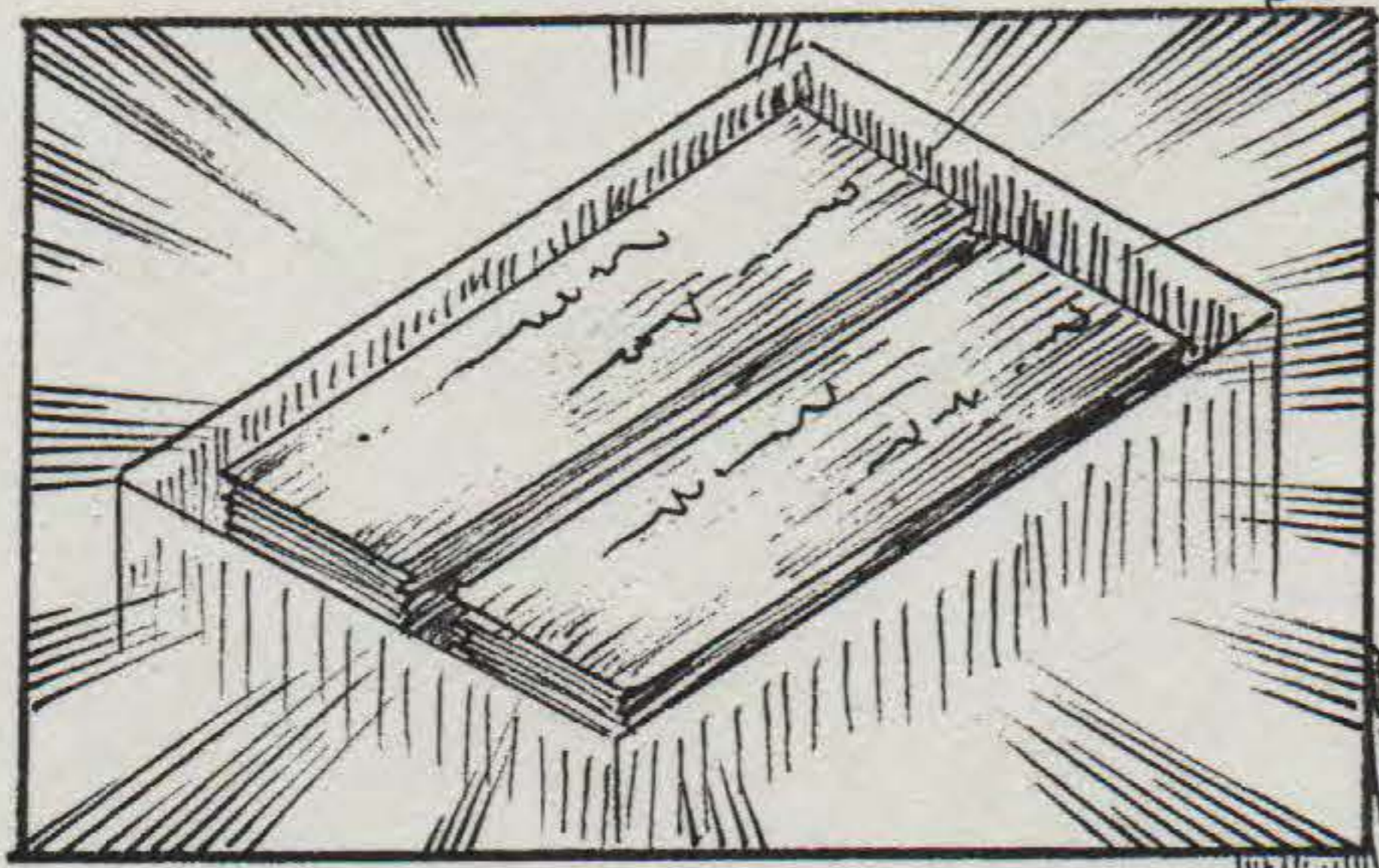
蜻蛉日記

松本麗奈





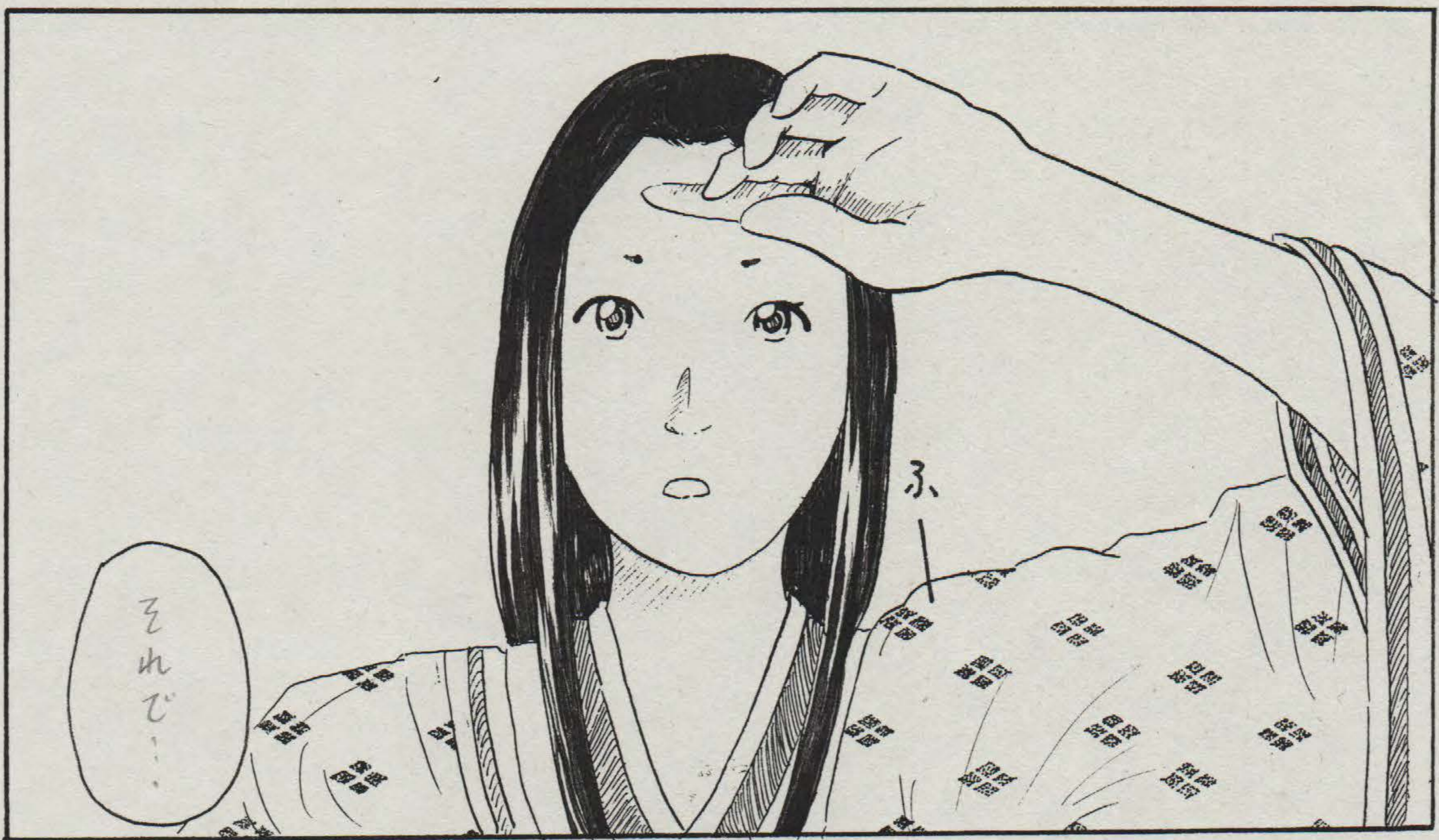
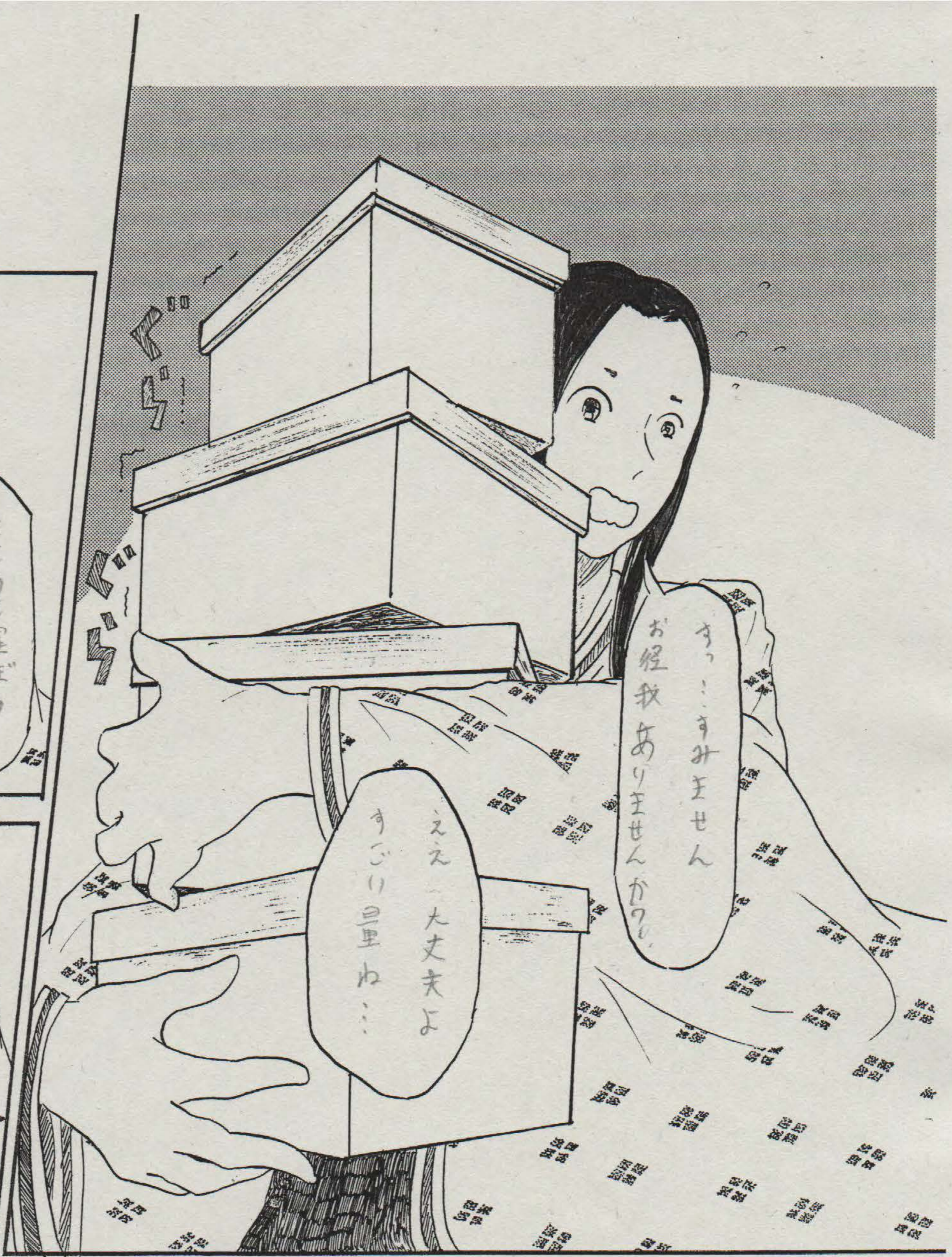
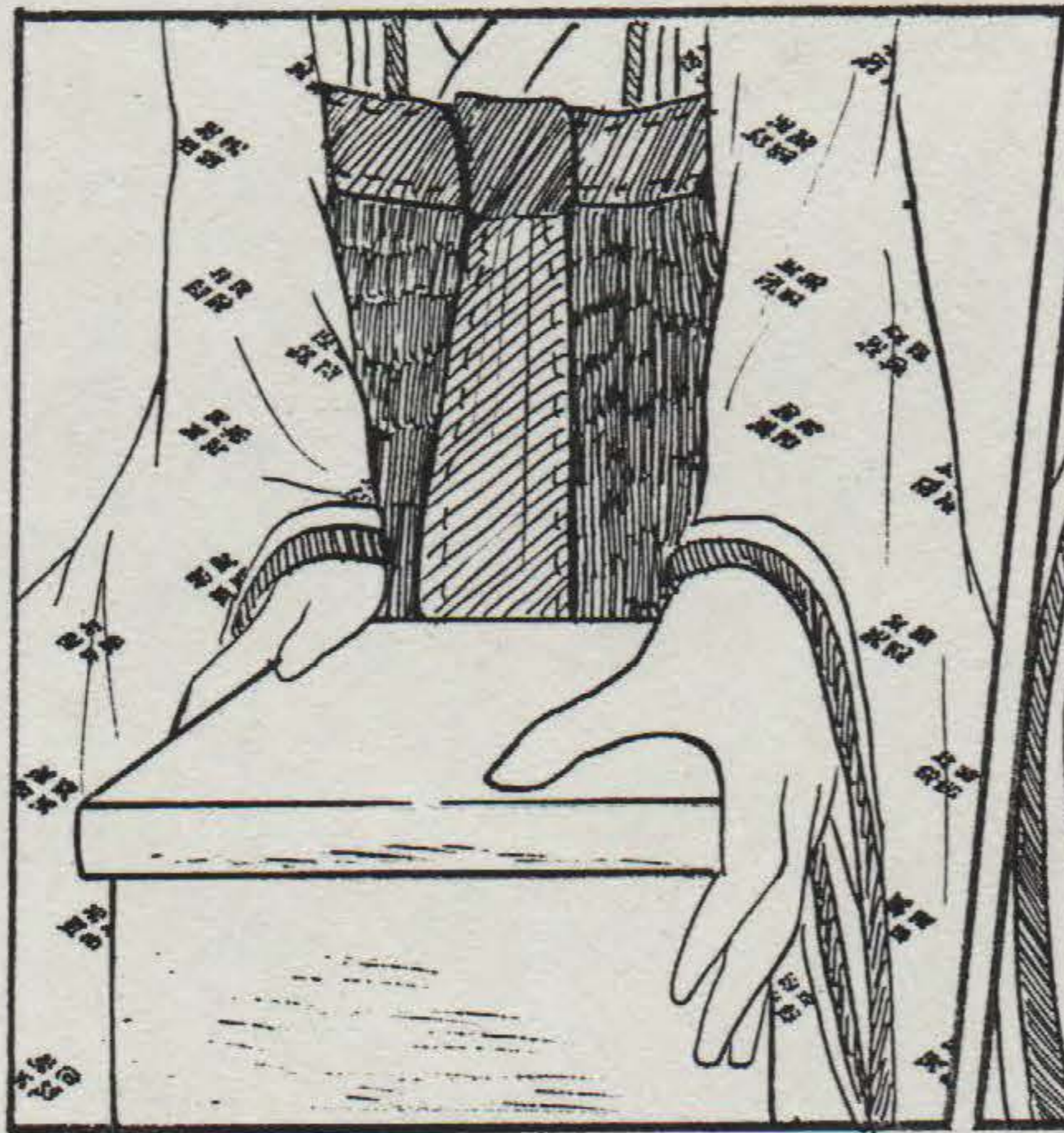




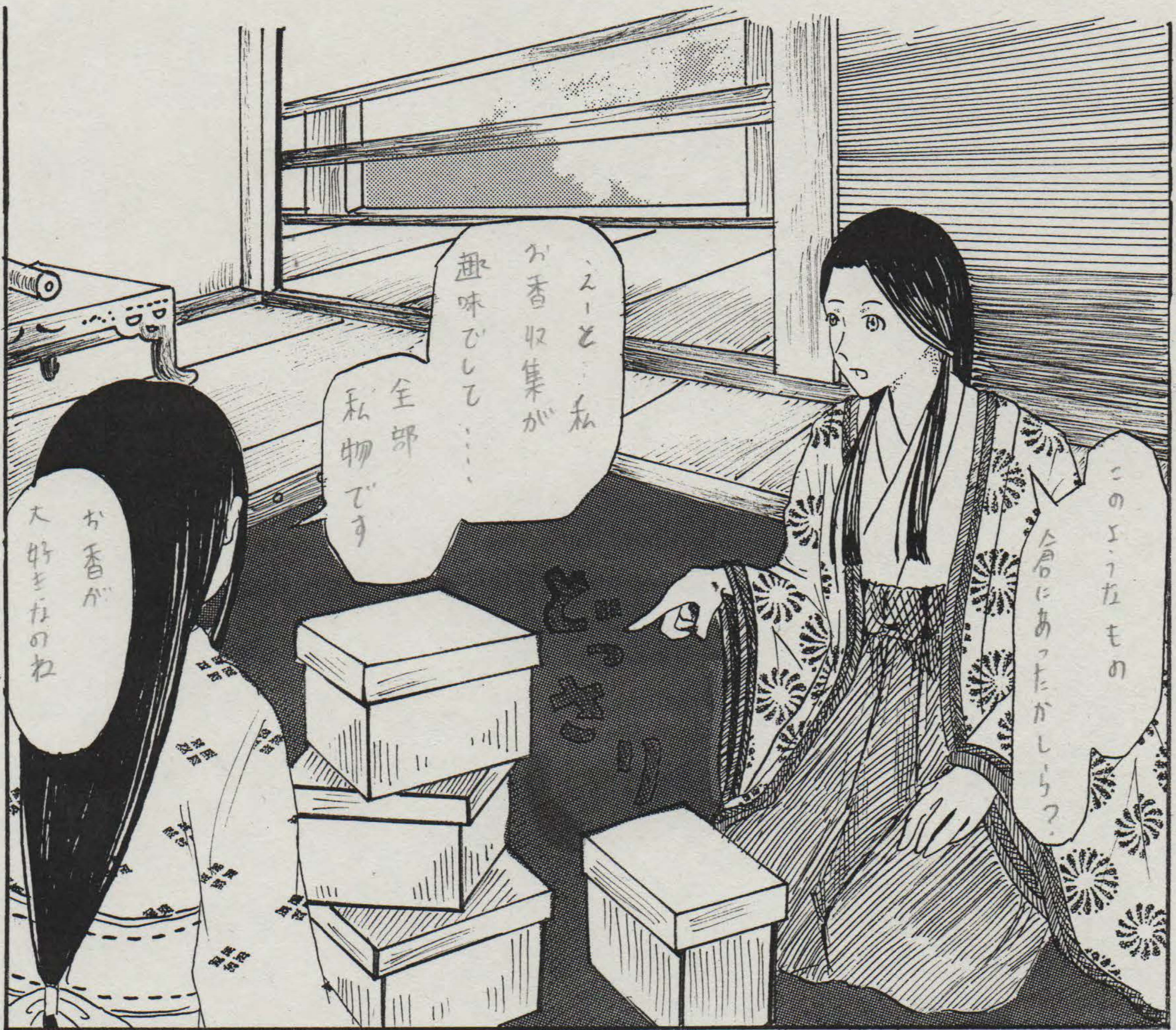
他の女人の愛が  
燃えていたから  
かのでは...









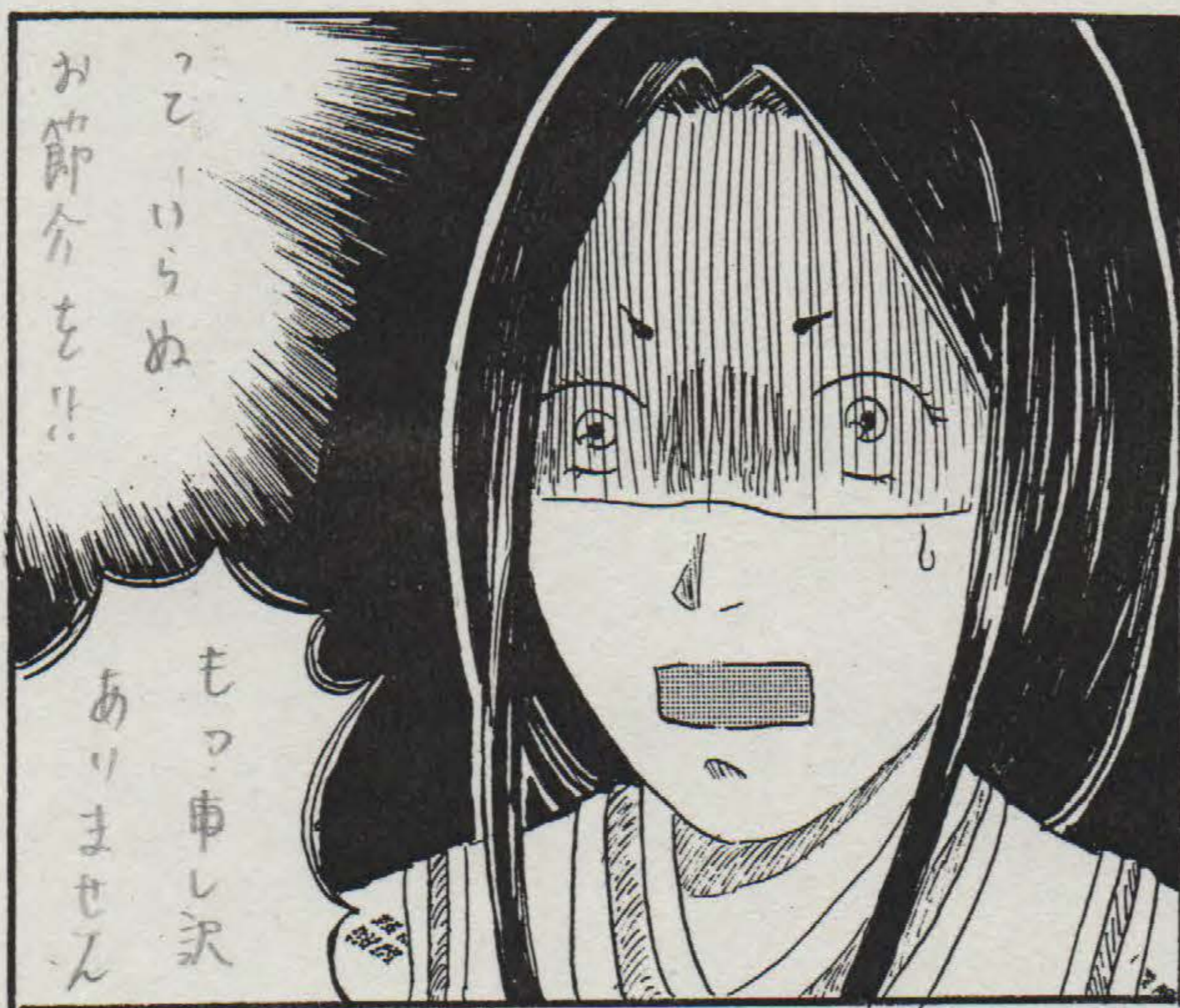


このようなもの  
倉庫にあったかしら？

スーと私  
お香収集が  
趣味でして……

全部  
私物です

お香が  
大好きなのね



ってーいらぬ  
お節介を!!

もっ申し次  
ありません



はいお香こそ奥が深くて  
香りが良いだけでなく  
心身を清められたり  
気持も落ち着かせられたりして

どうかう  
どこか悩み草々  
道細の母様に  
びっくりかと



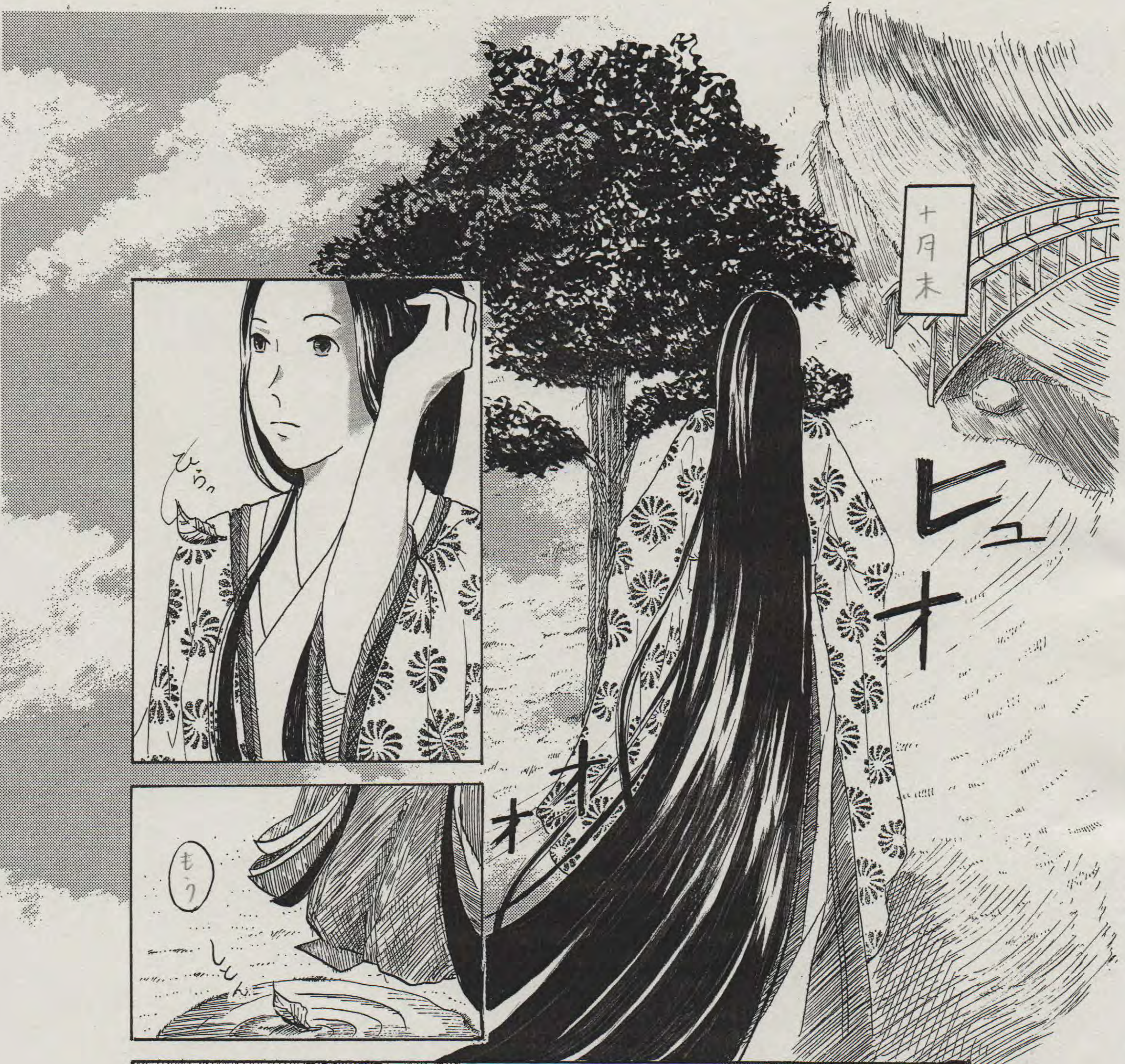
スーと  
ありがとう

えびりて心配  
してくれて

私も  
お香収集  
しよっかしら

やりましょっかしら



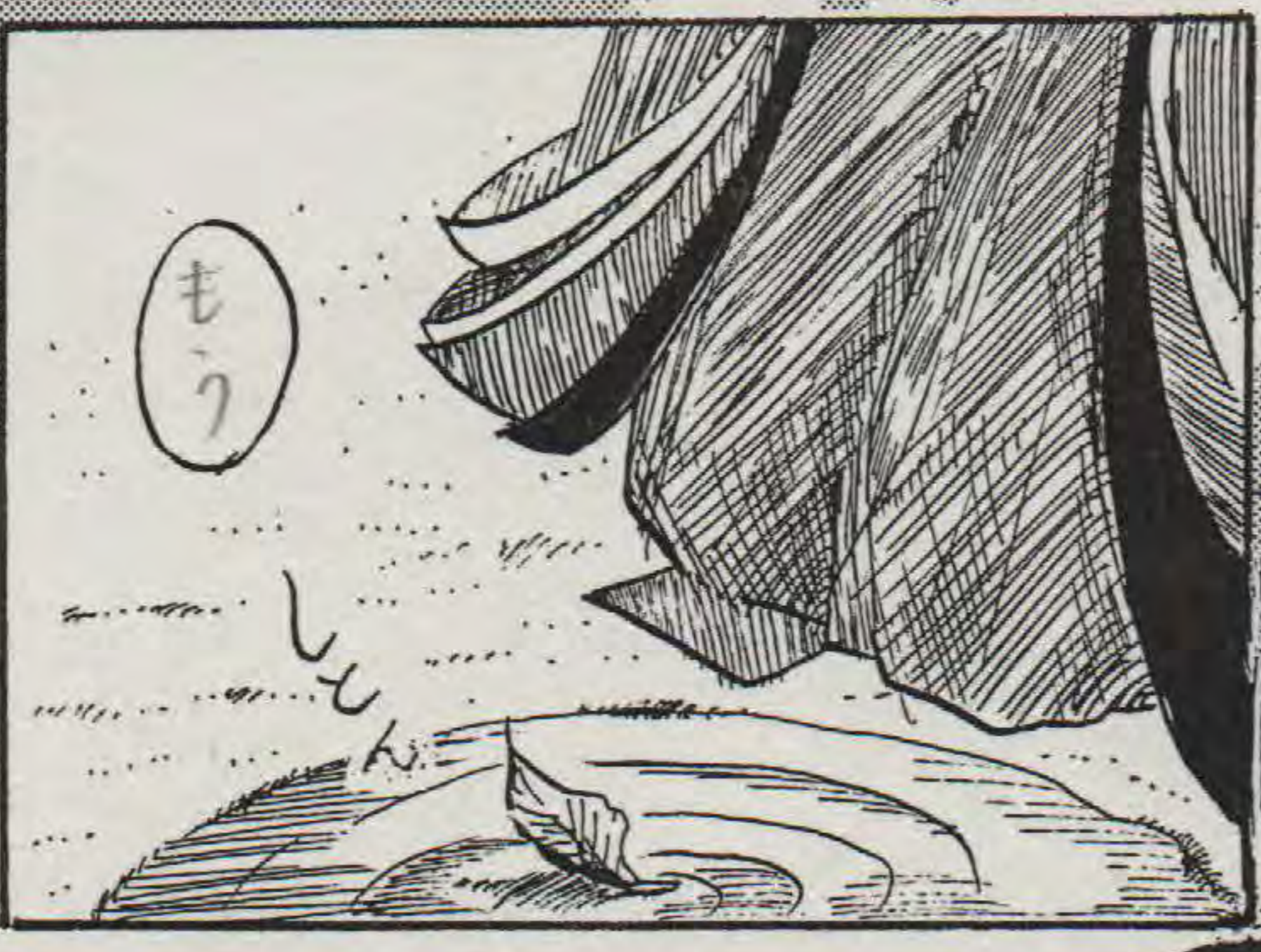


十月末

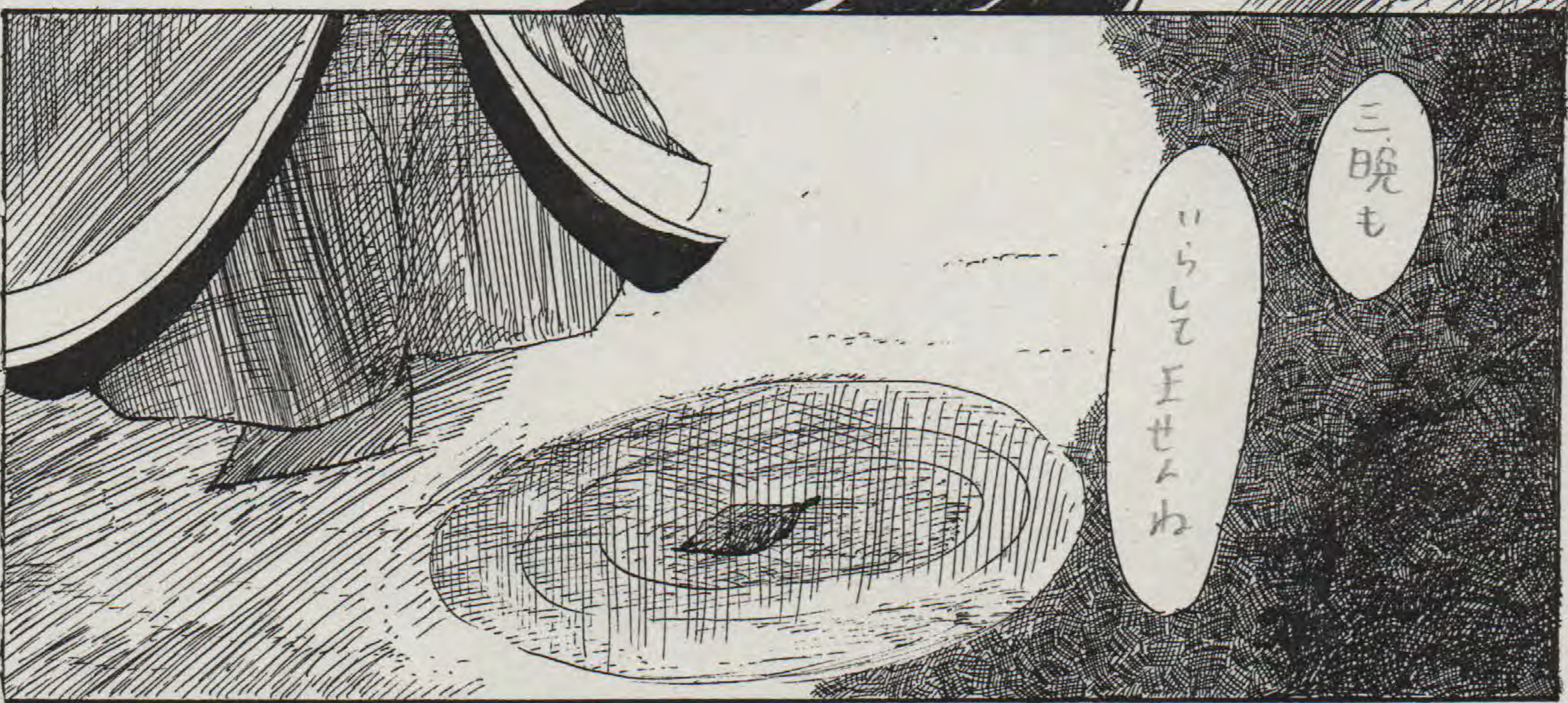
ヒュ  
オ



ひん



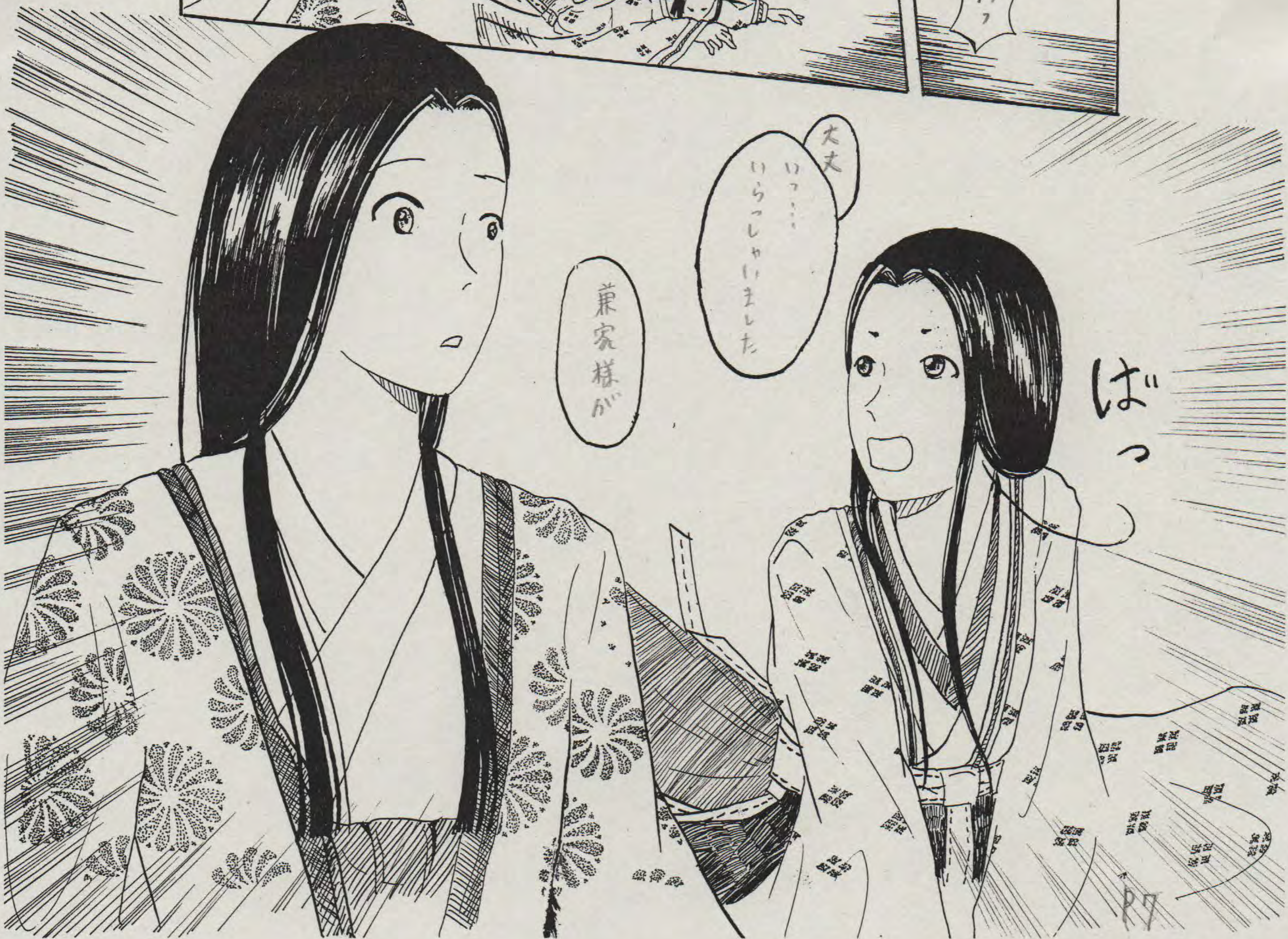
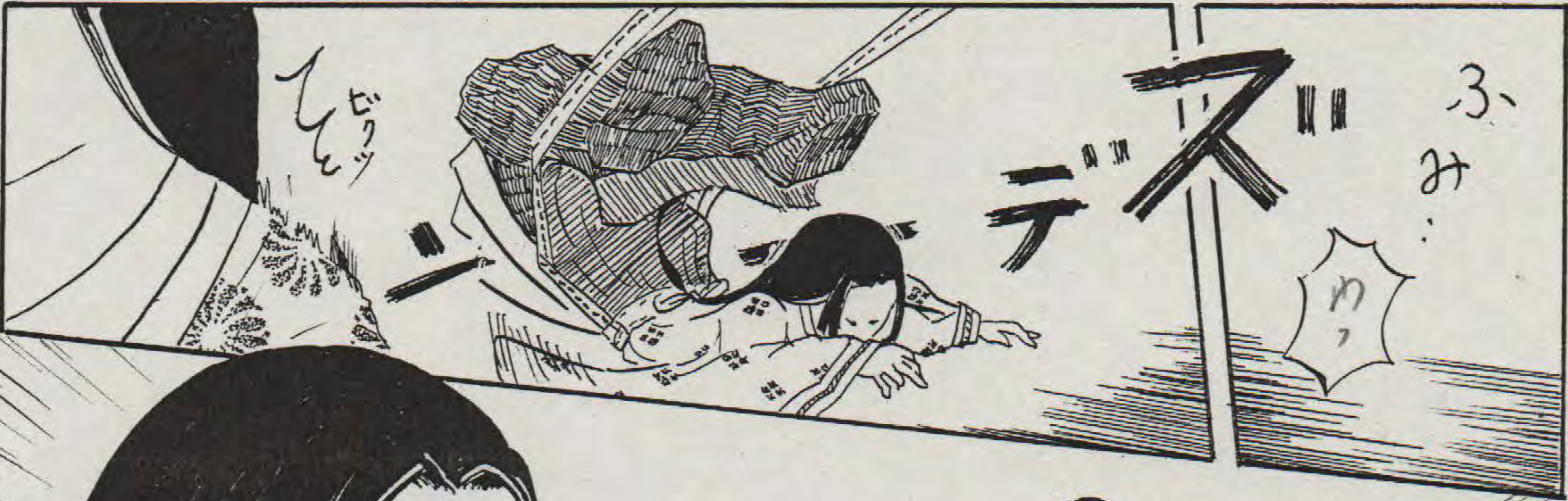
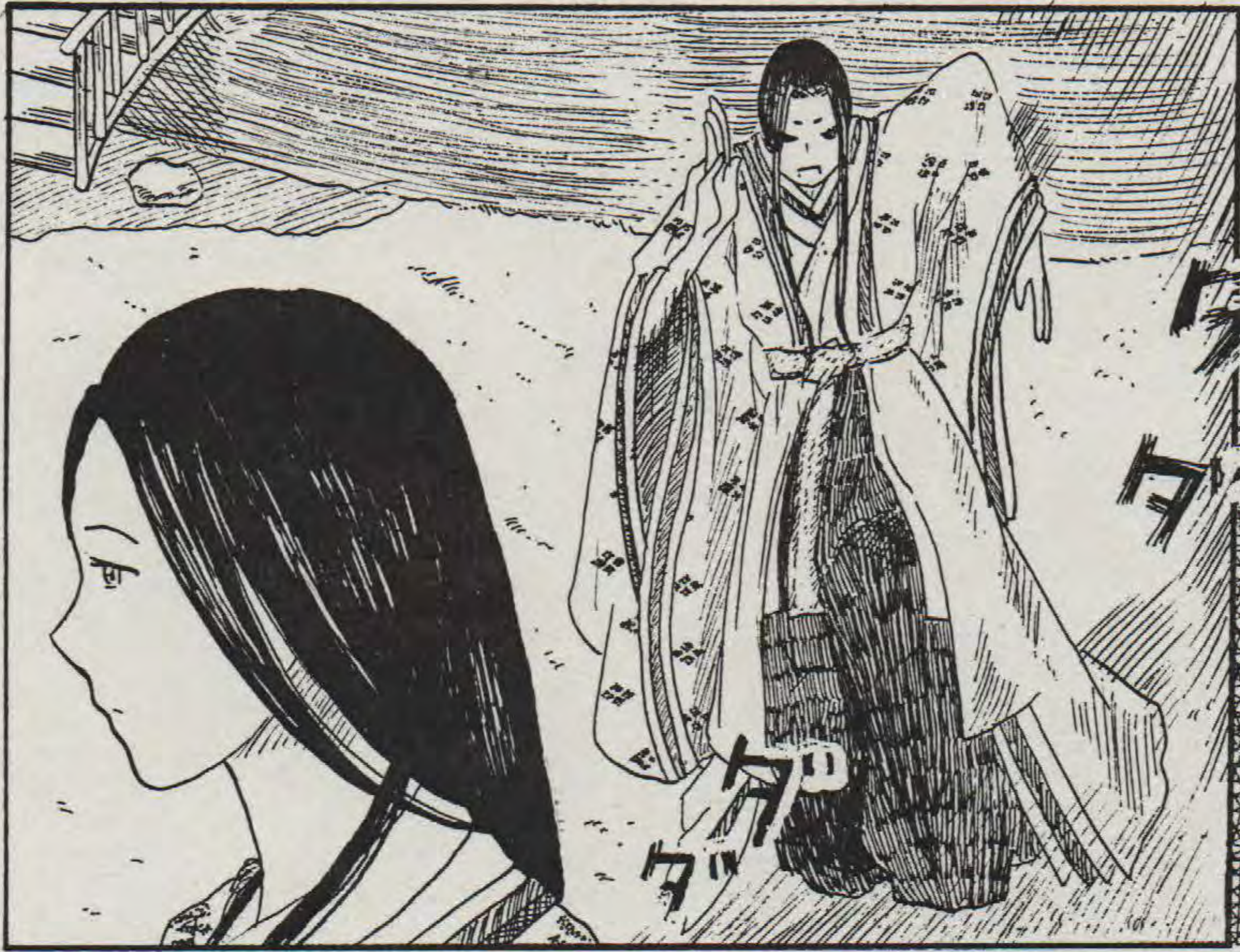
もう



三晩も

いらして王せんね



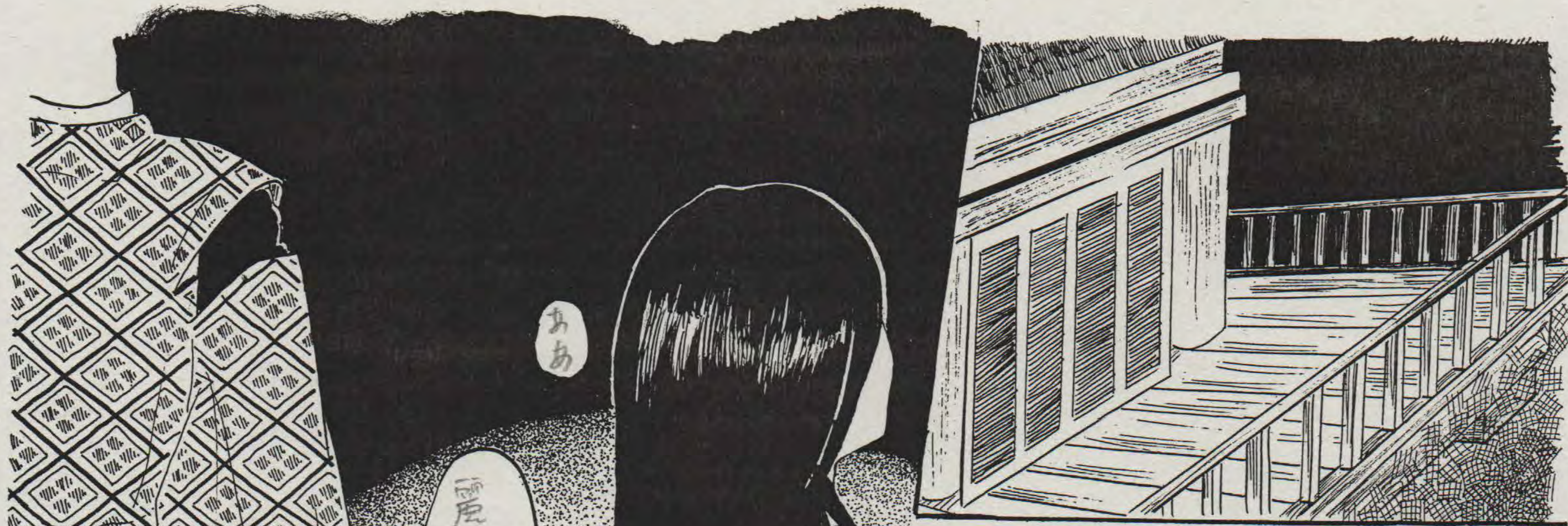


兼家様が

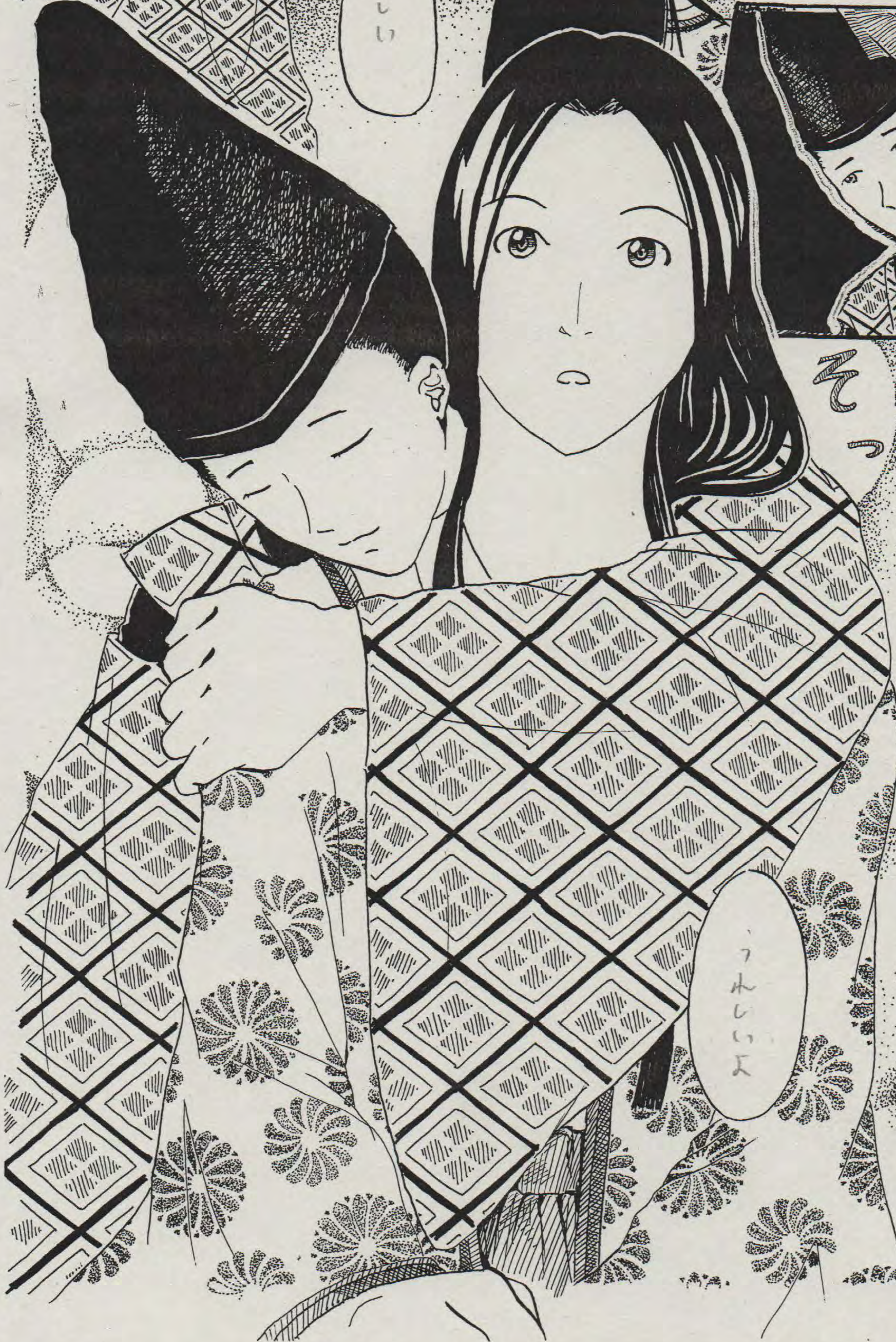
大丈夫  
いらっしゃいました

はっ





可愛い



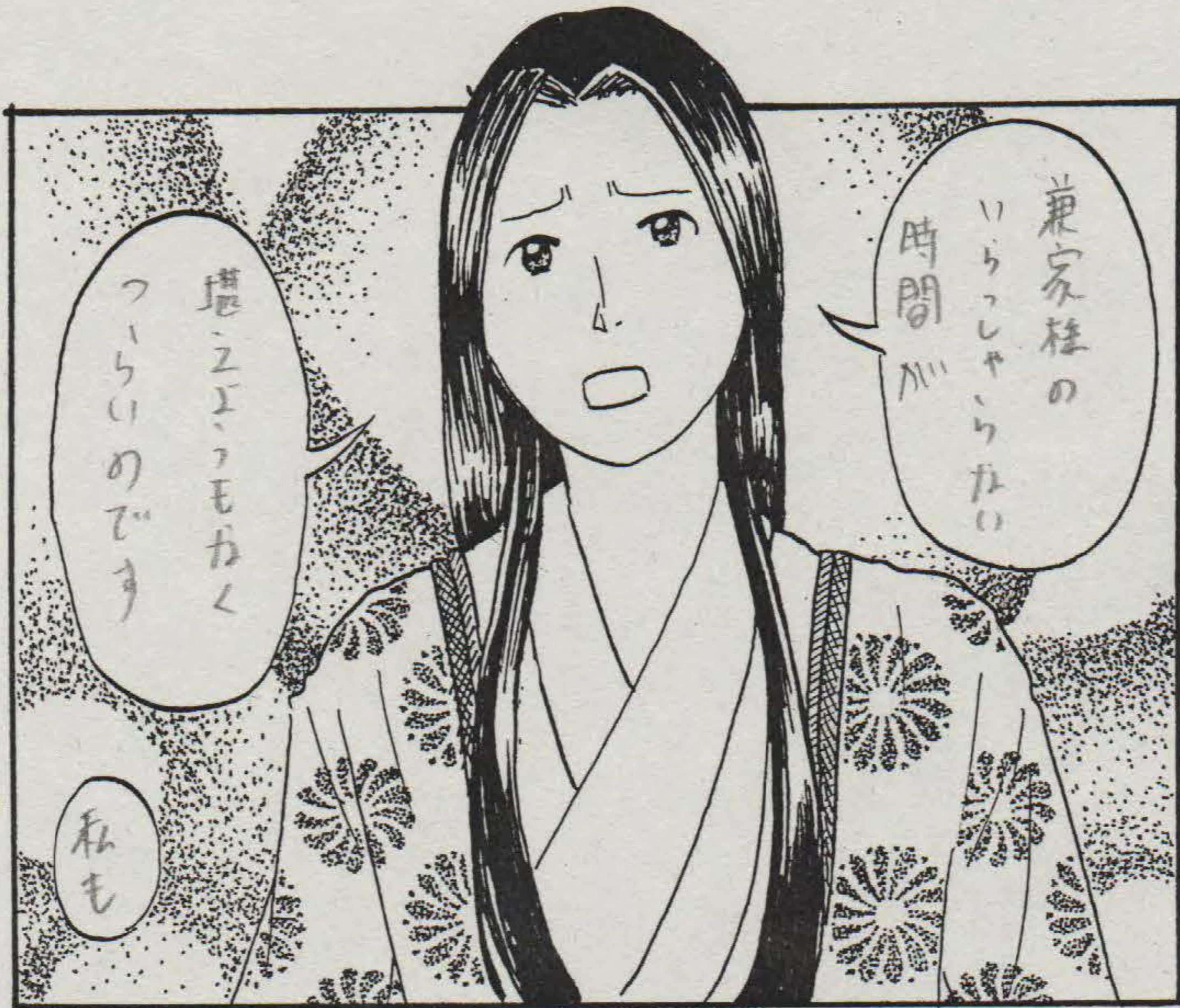
そっ

君にさえて

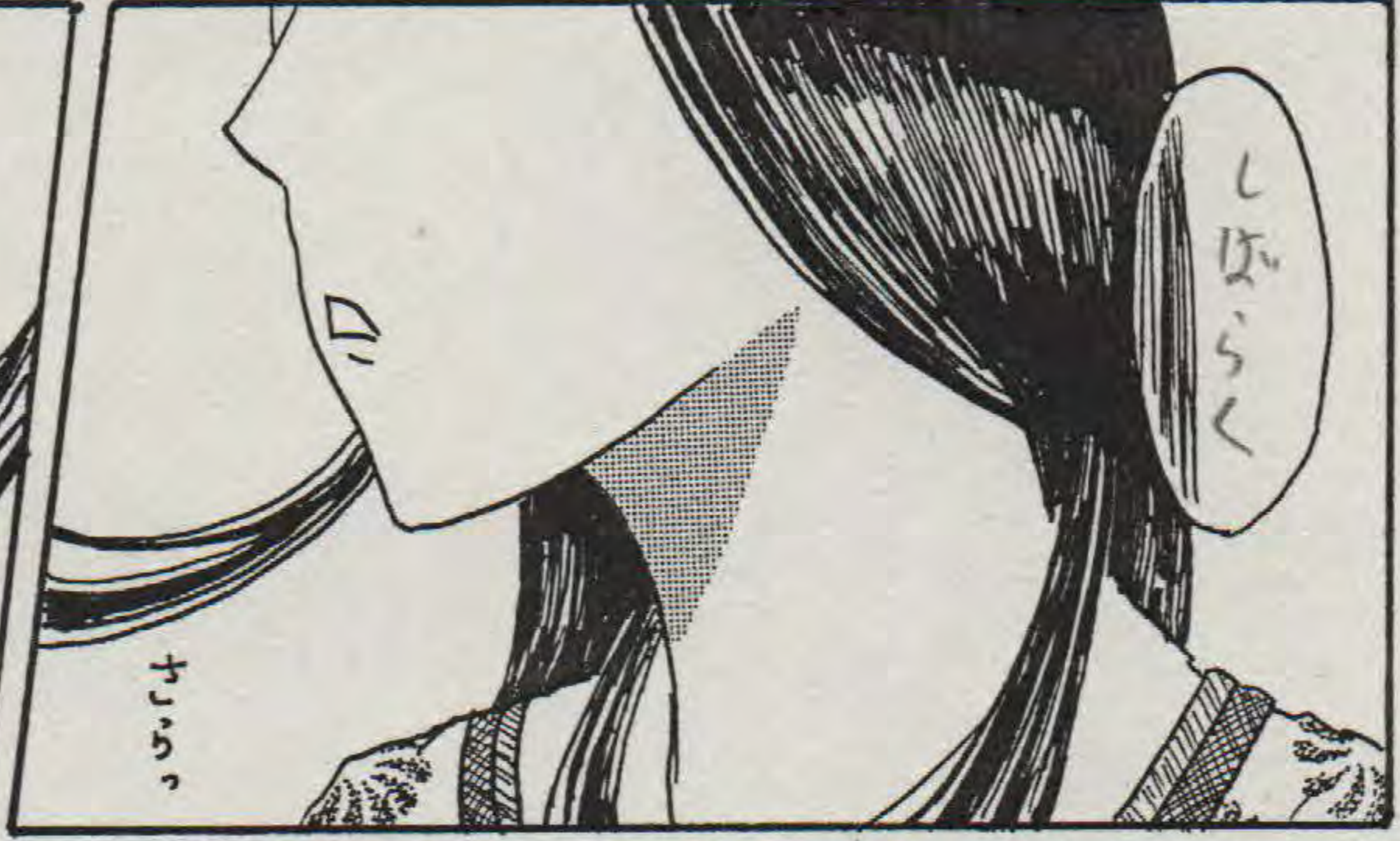
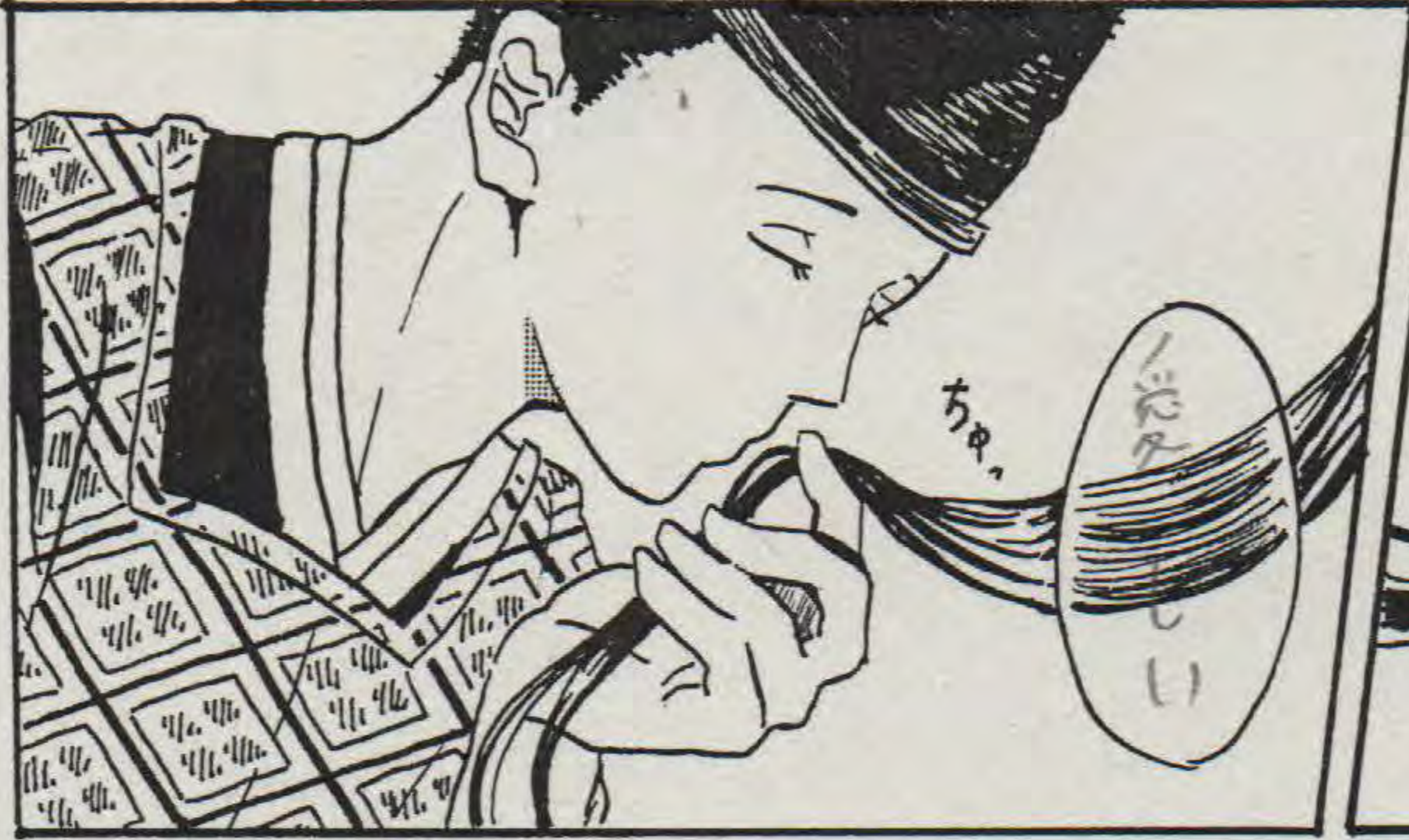
君に触れられて

うわー

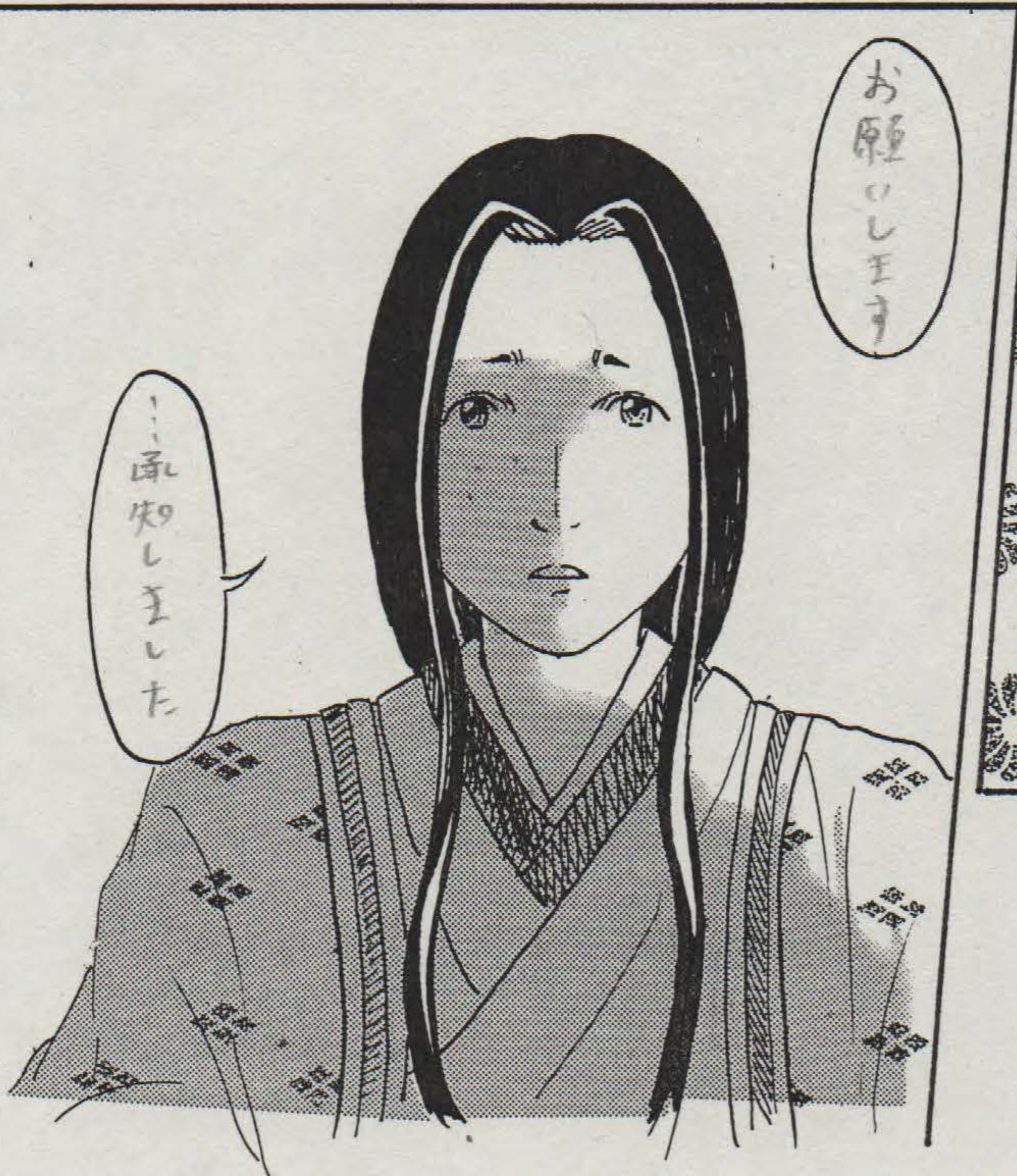
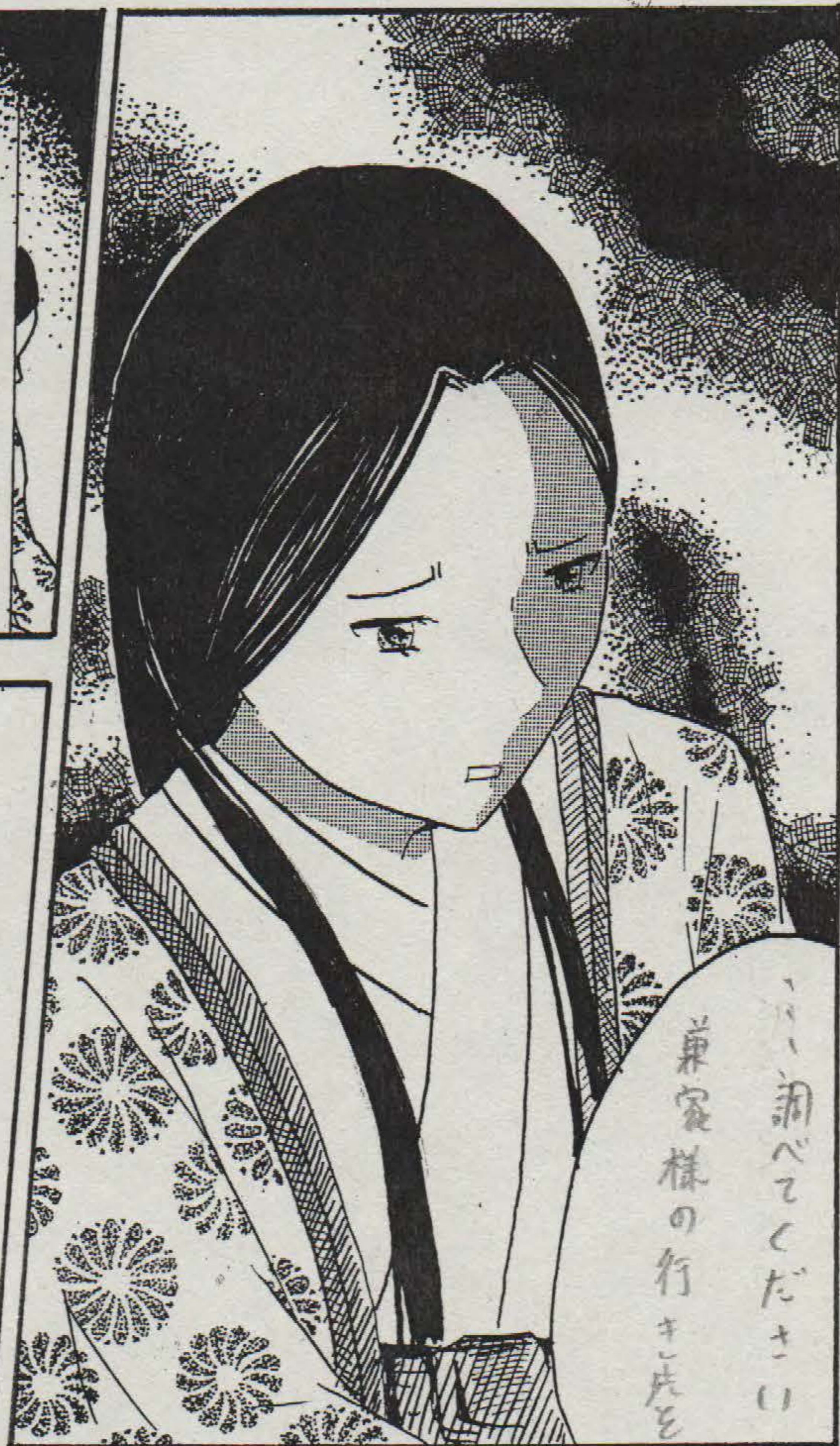
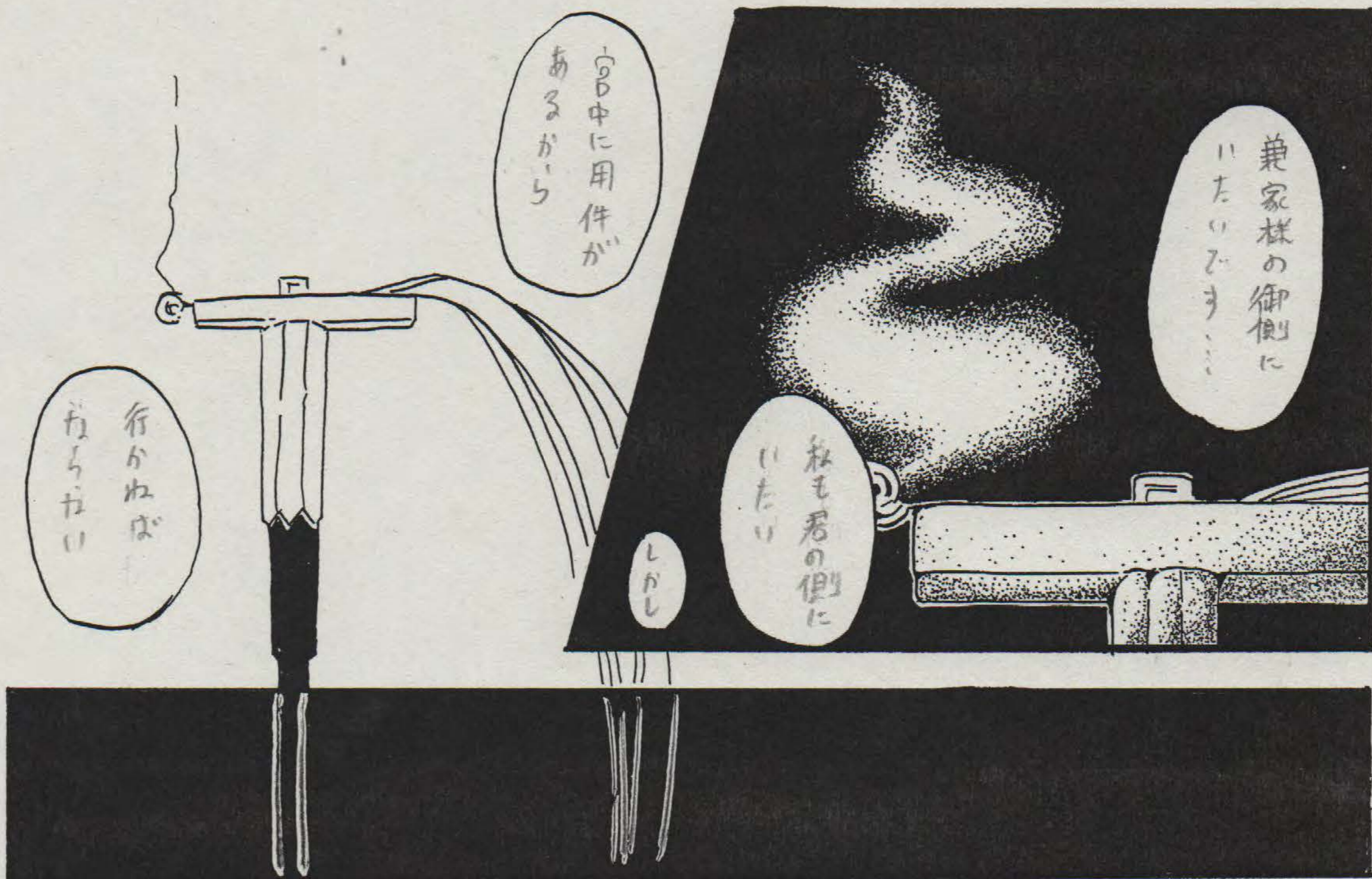




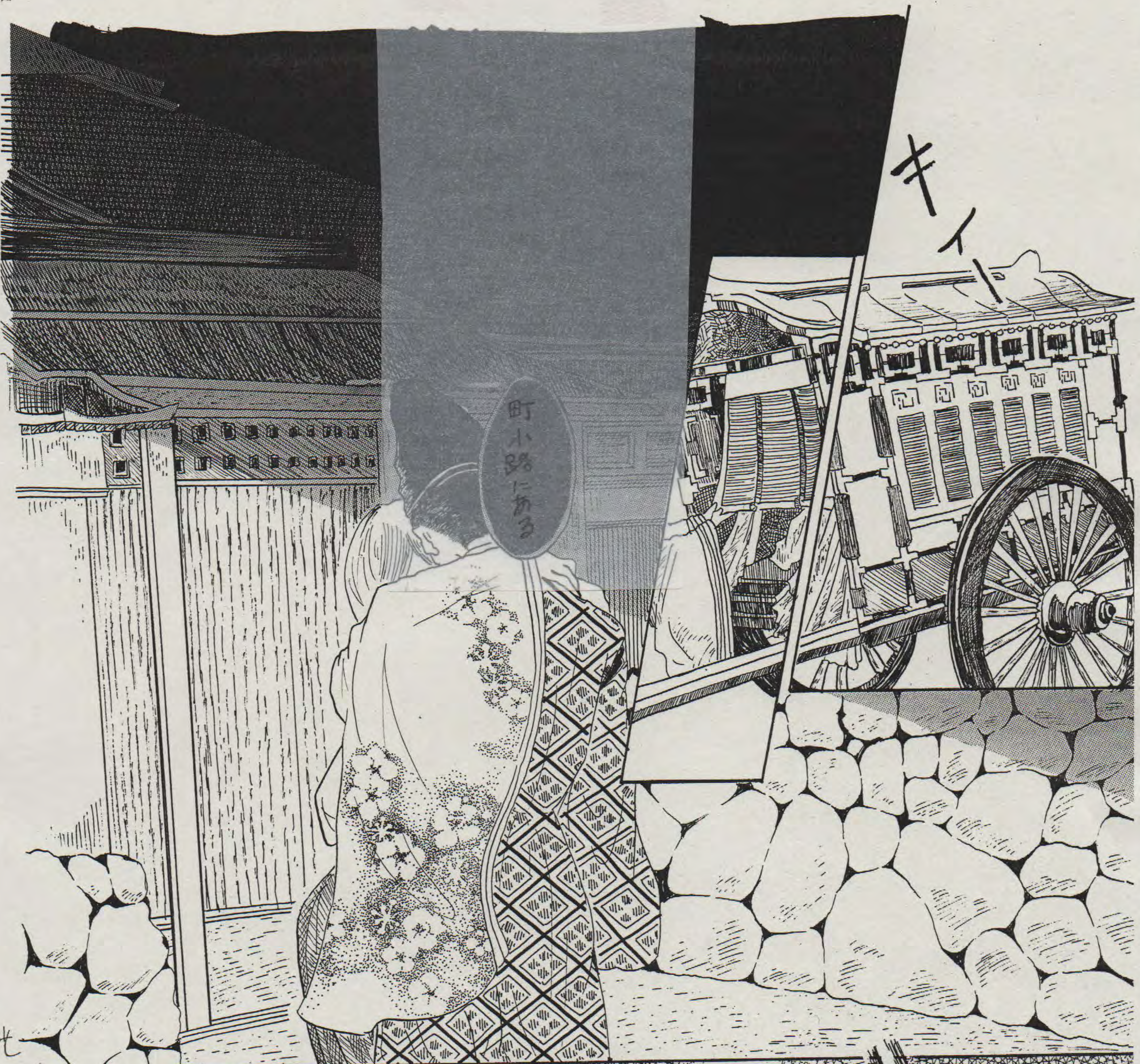






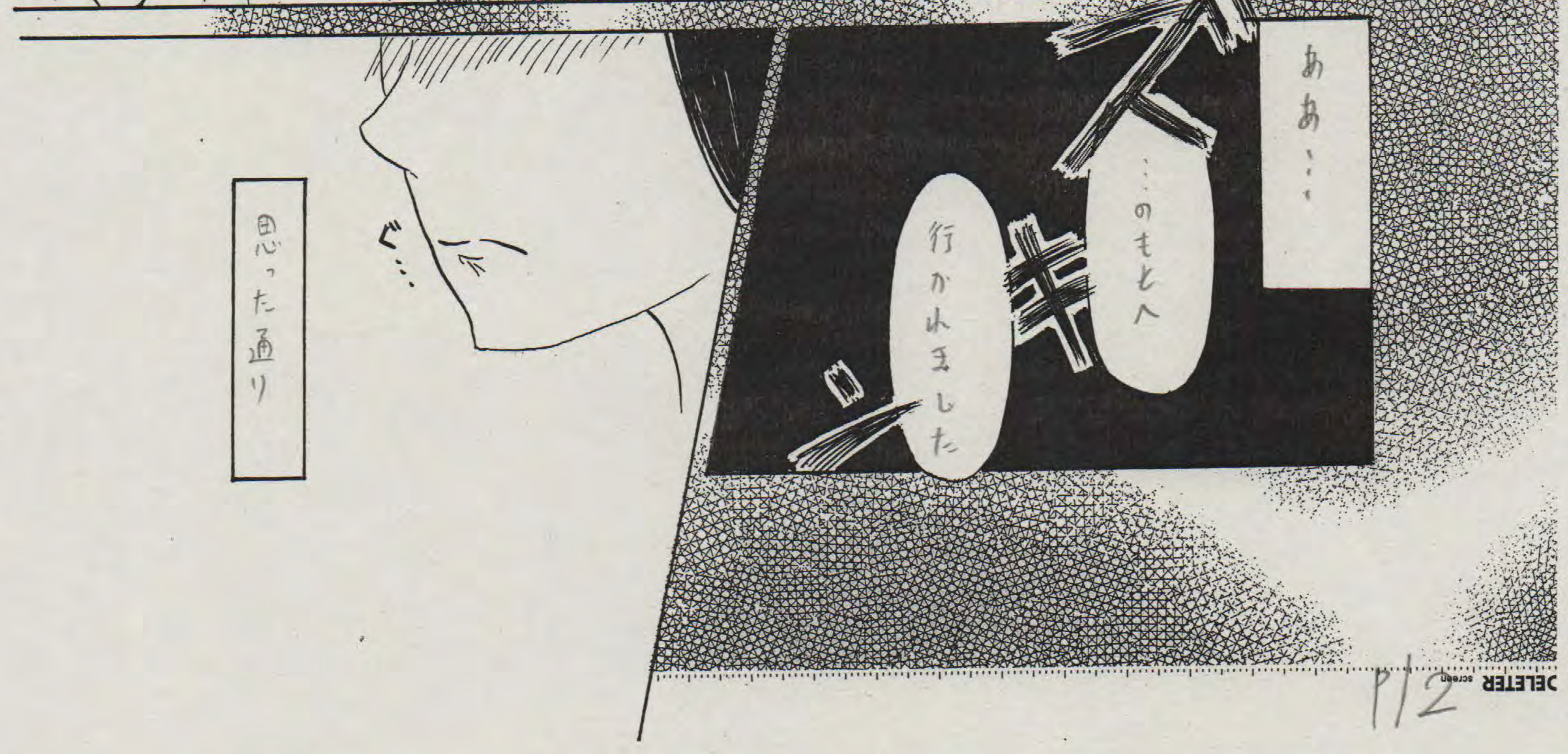






町小路にある

キ  
↑  
↑



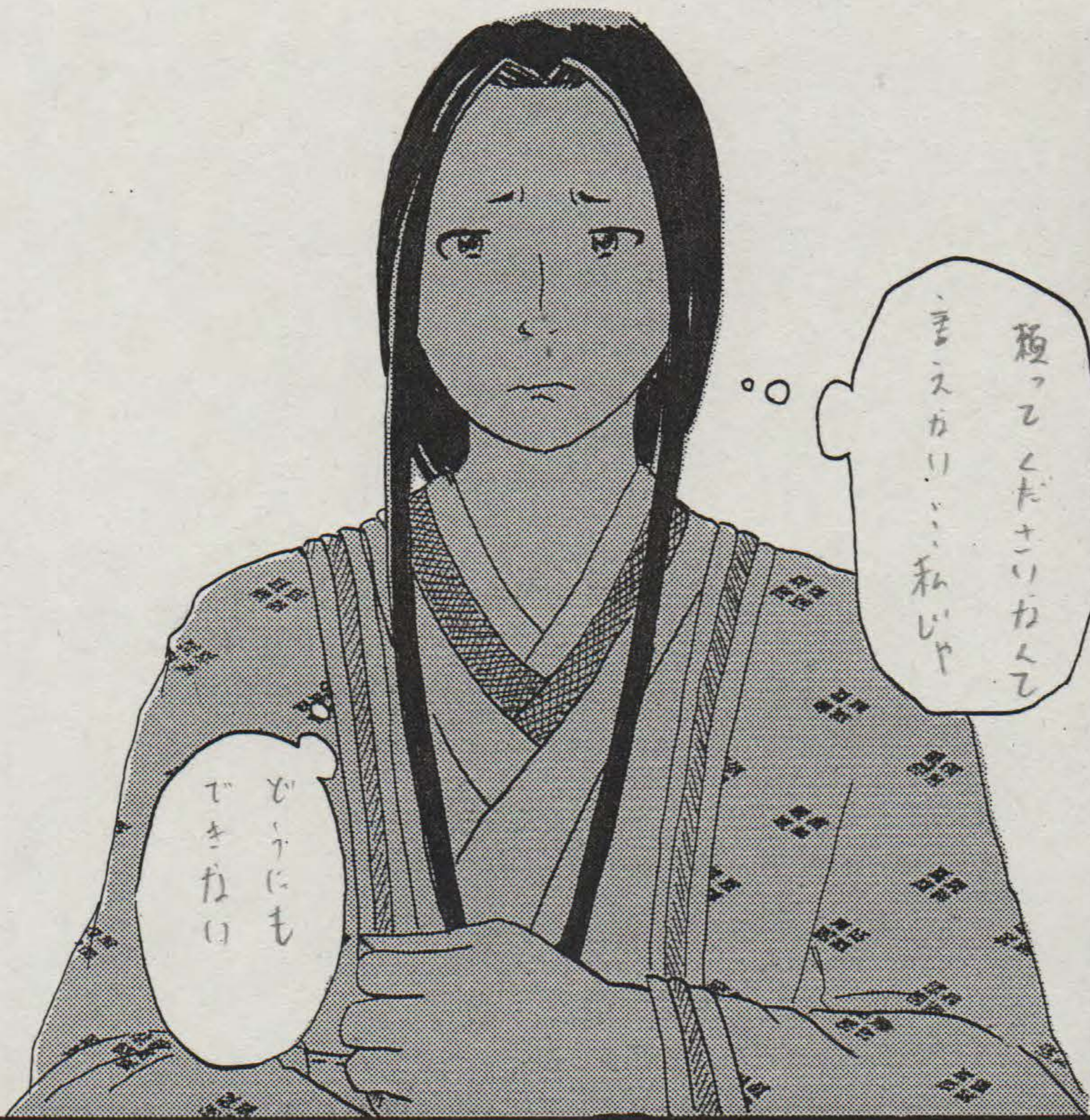
思  
っ  
た  
通  
り

行  
か  
い  
ま  
し  
た

の  
も  
と  
へ

あ  
あ  
...





どくにも  
できたり

願ってくださりわんて  
言えたり...私じゃ



あの



つらい



苦しい

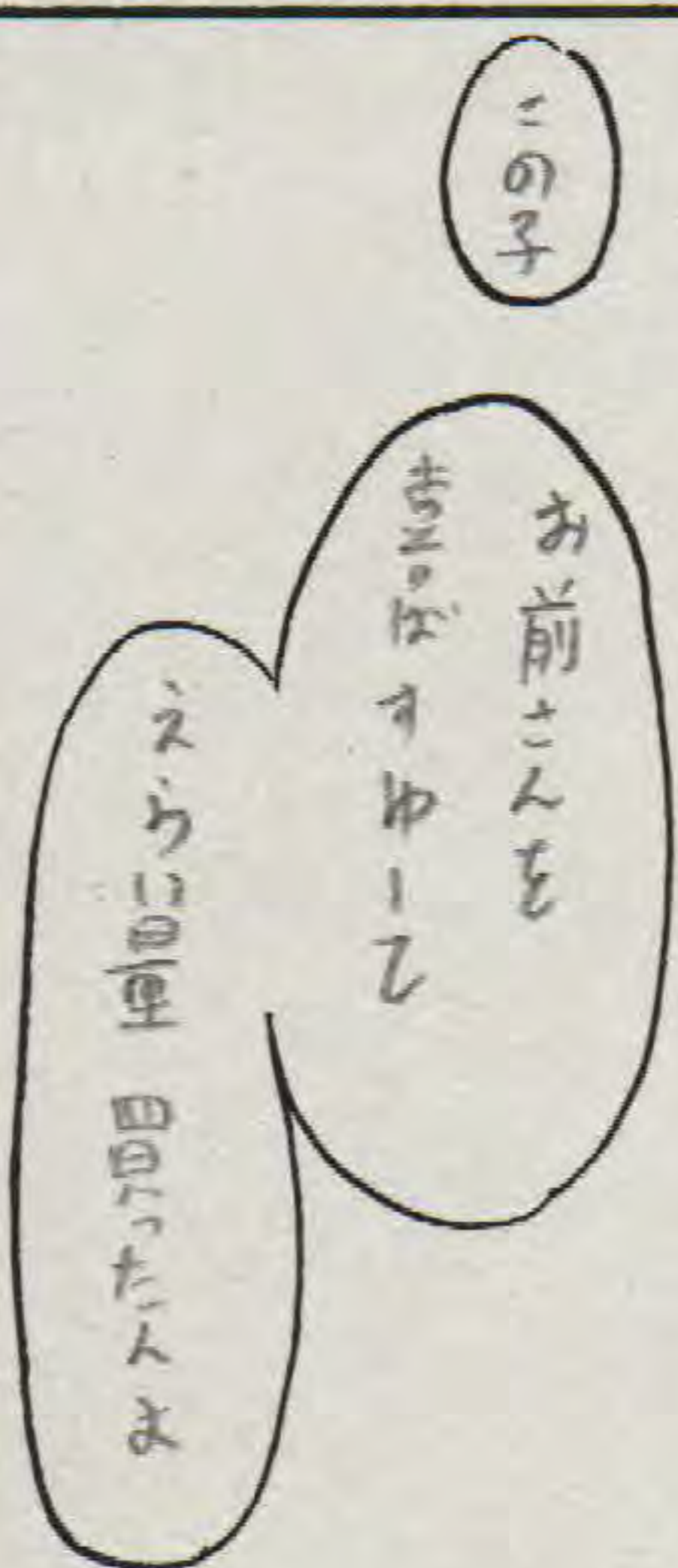
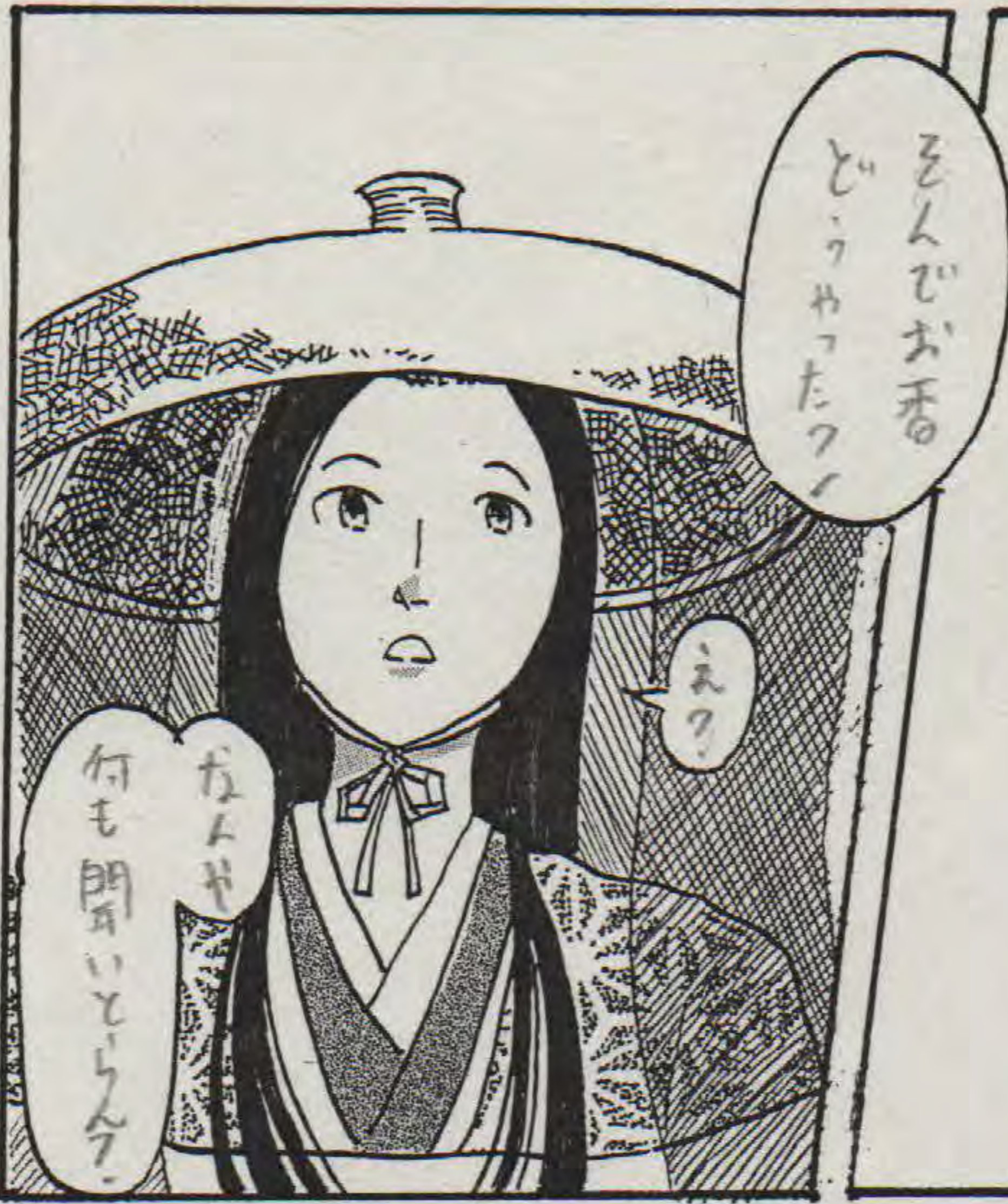
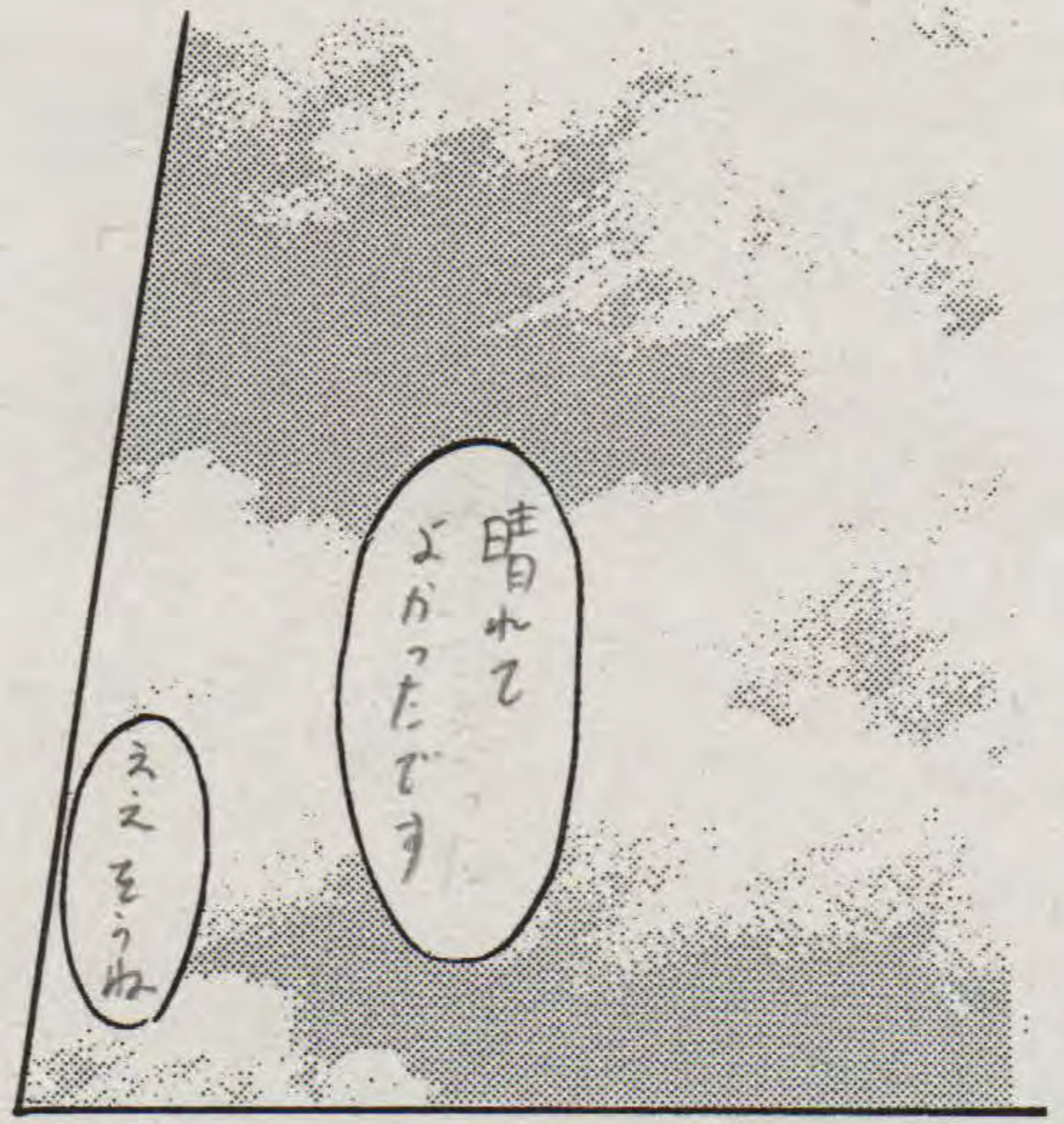
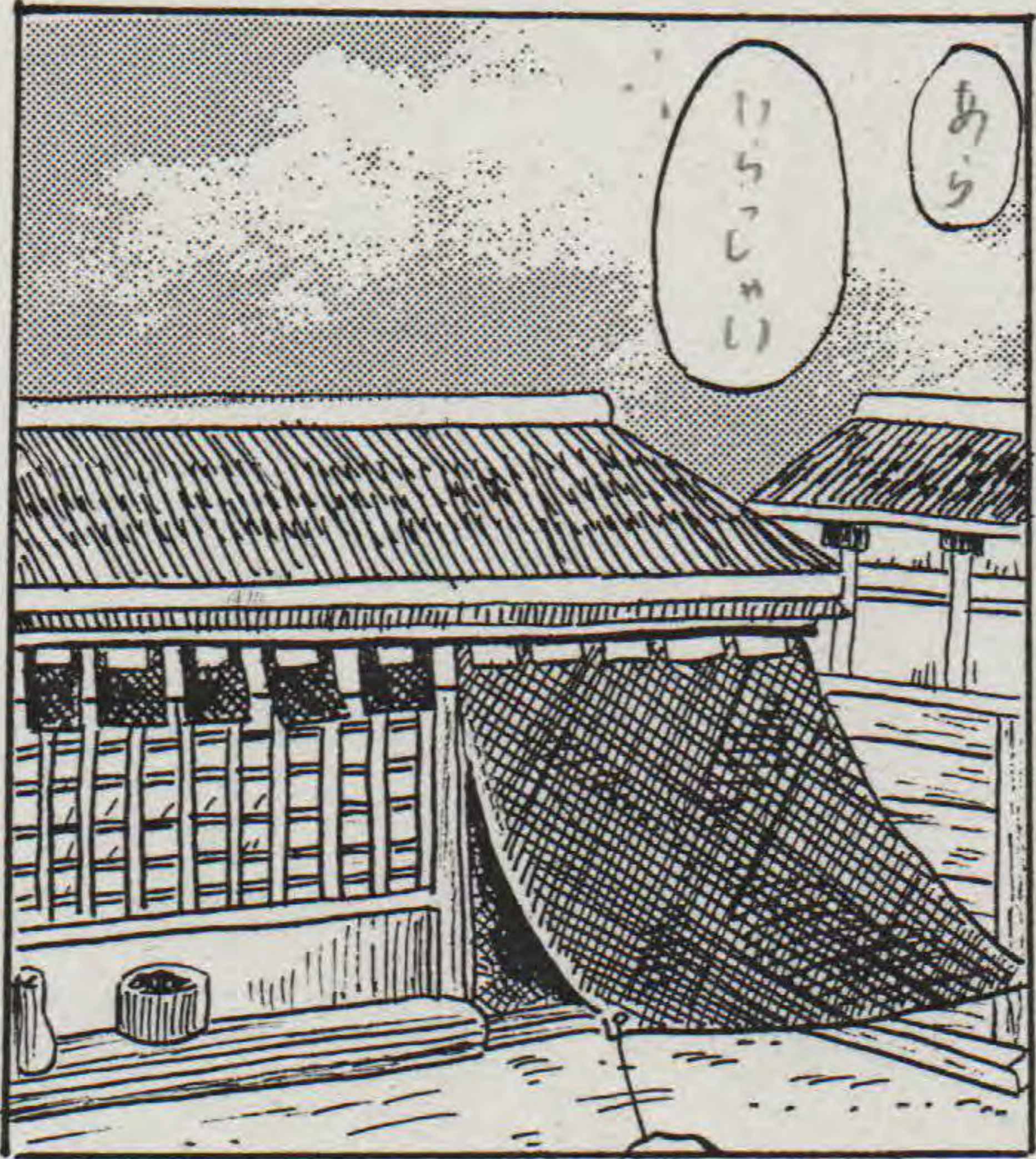


寂しい

情けない

もつ...













起きて  
まらぬまうか

ええ

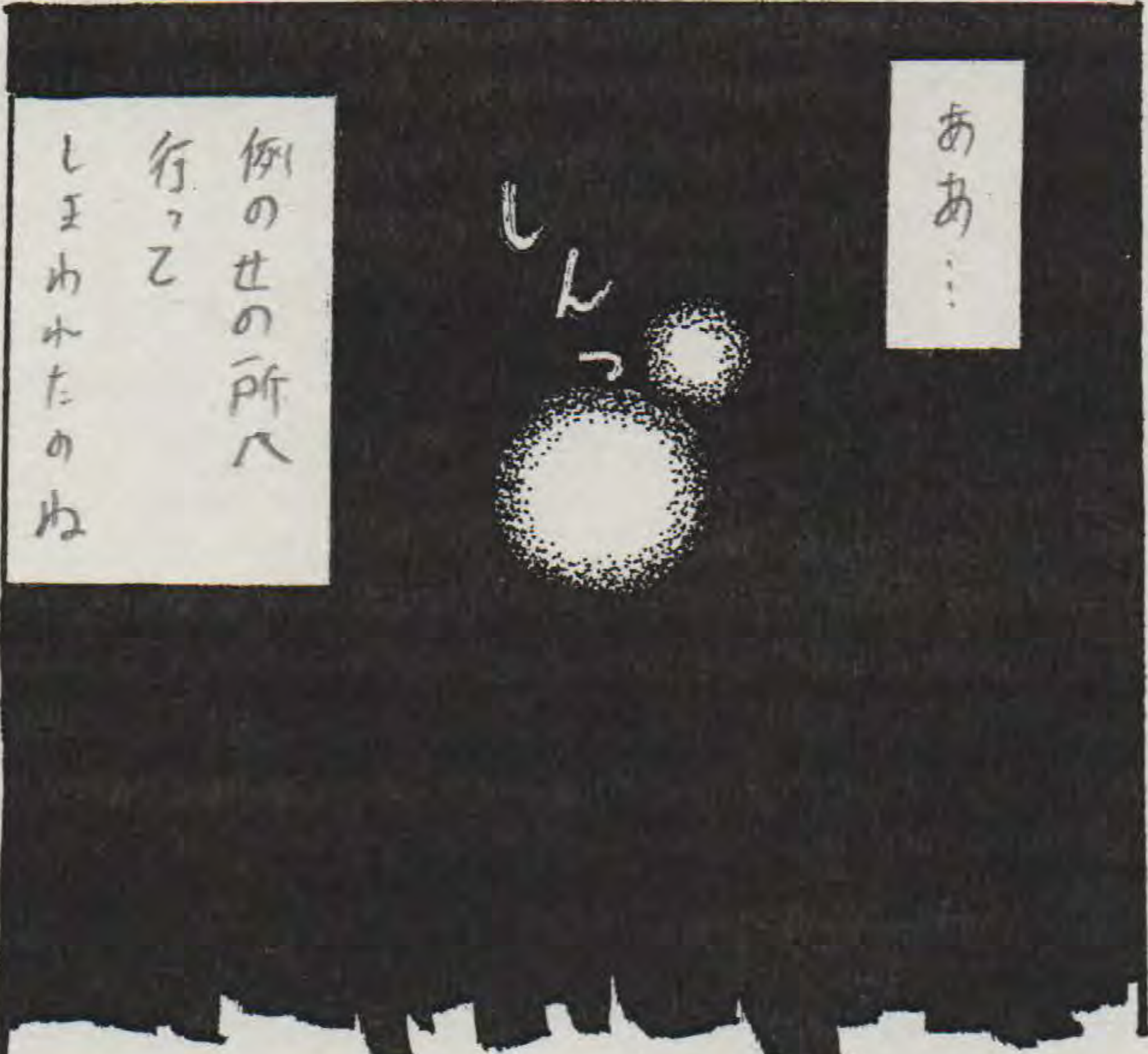
恨めしい...



兼家様が  
いらして下さいますか

開け方ので!

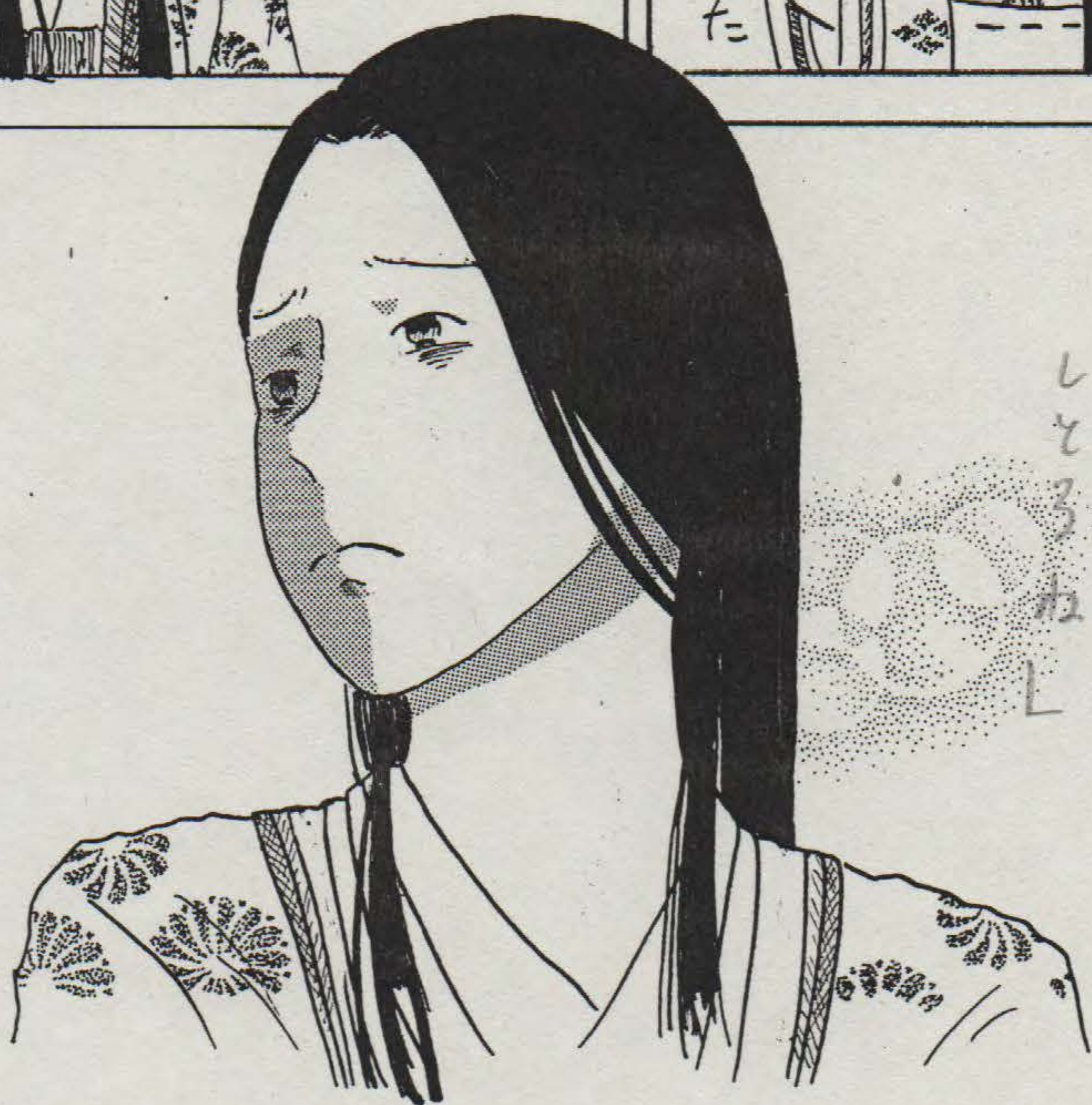
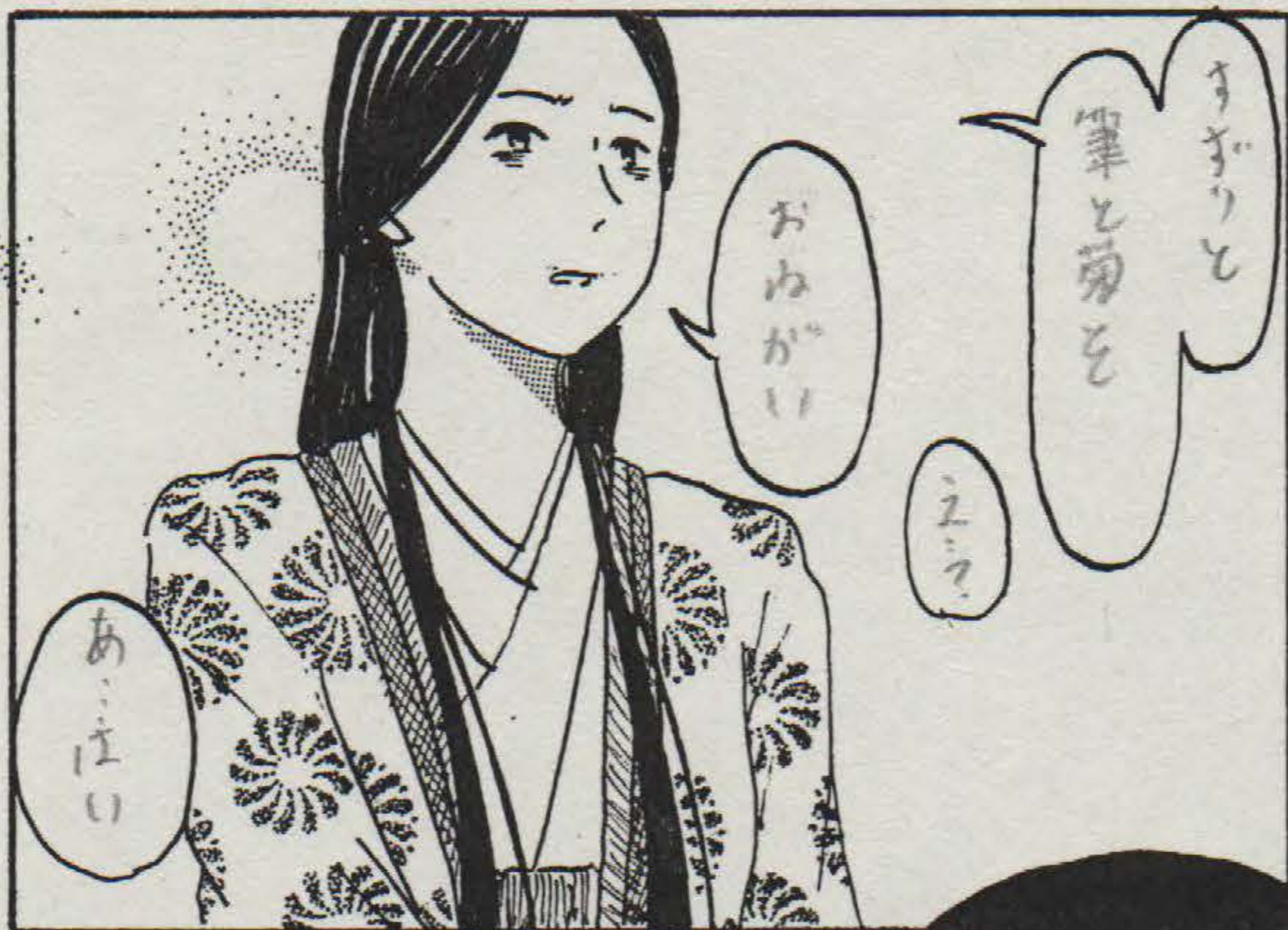
どういのですか



ああ...

例の世の所へ  
行って  
しまわねたのね





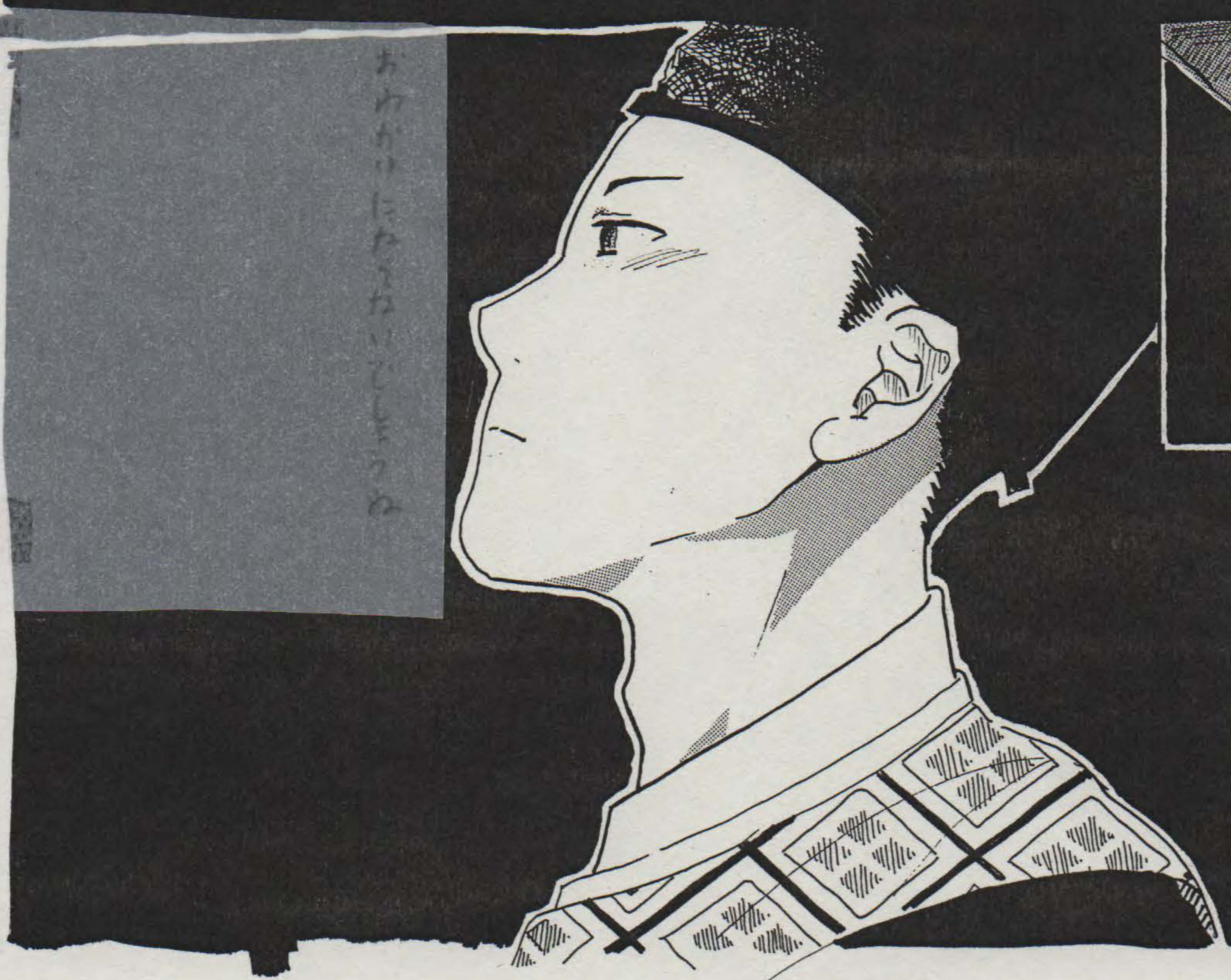
このままでは  
いけな...

いいゆる術が  
わがらんく  
な...  
し...  
し...





嘆きながらふり寝をする夜は  
明けるときの間は  
かんかに長いものが  
あめがりにたりますが



開ける間も待たない  
あなたのことでもあ





夜が明けろまでも

様も目エこもした竹もも

急用ののしはいが

来合めせたので

あふにふらこるはなんた

君のいつことは

しこくもこもひす





なみたん 胸のそらえたいのは

なじなり まさの戸も

本当に本当に君がまことより  
冬の夜はながなが明けす  
つらいものだけと

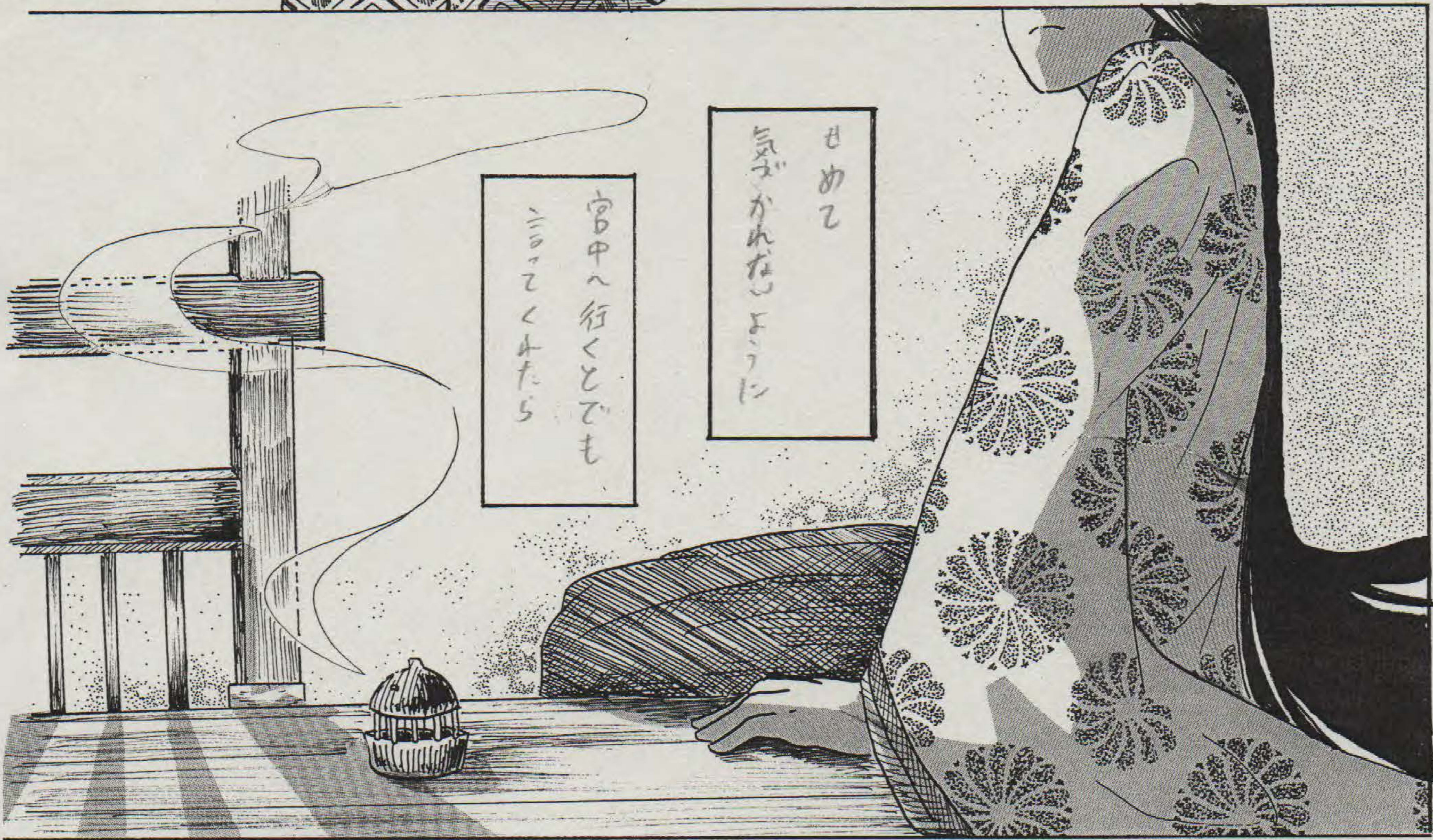
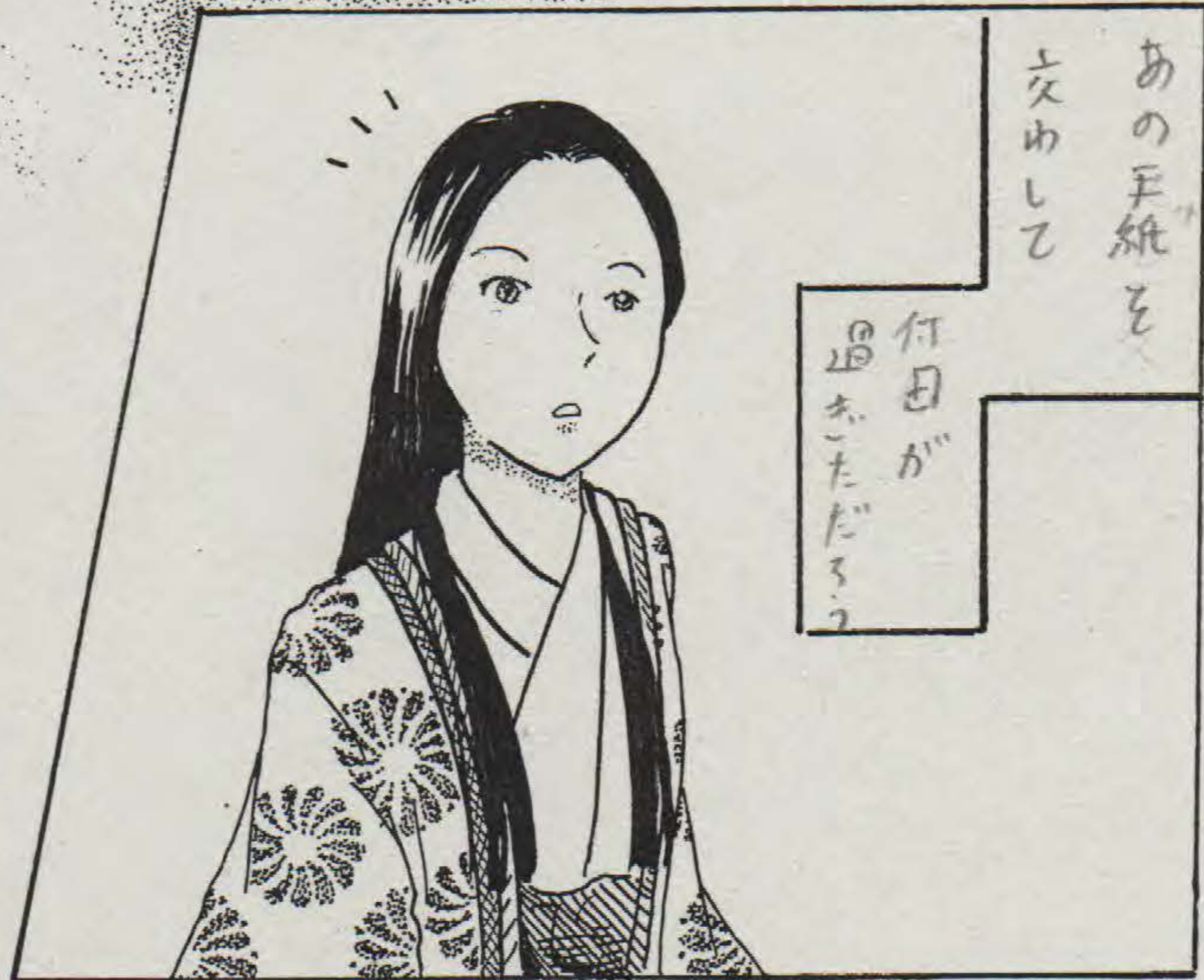


つらいことだと

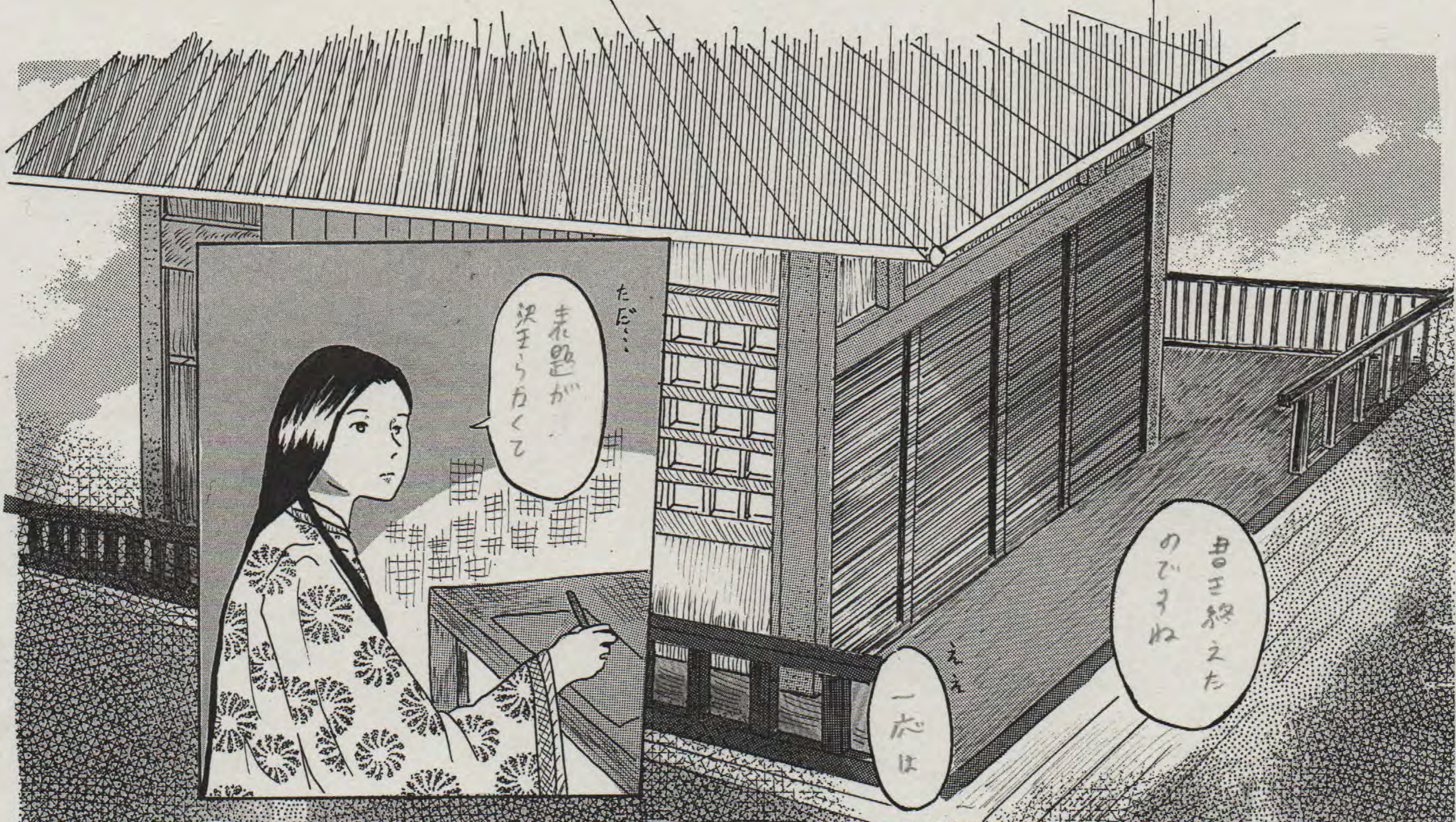


初めてゆかたよ





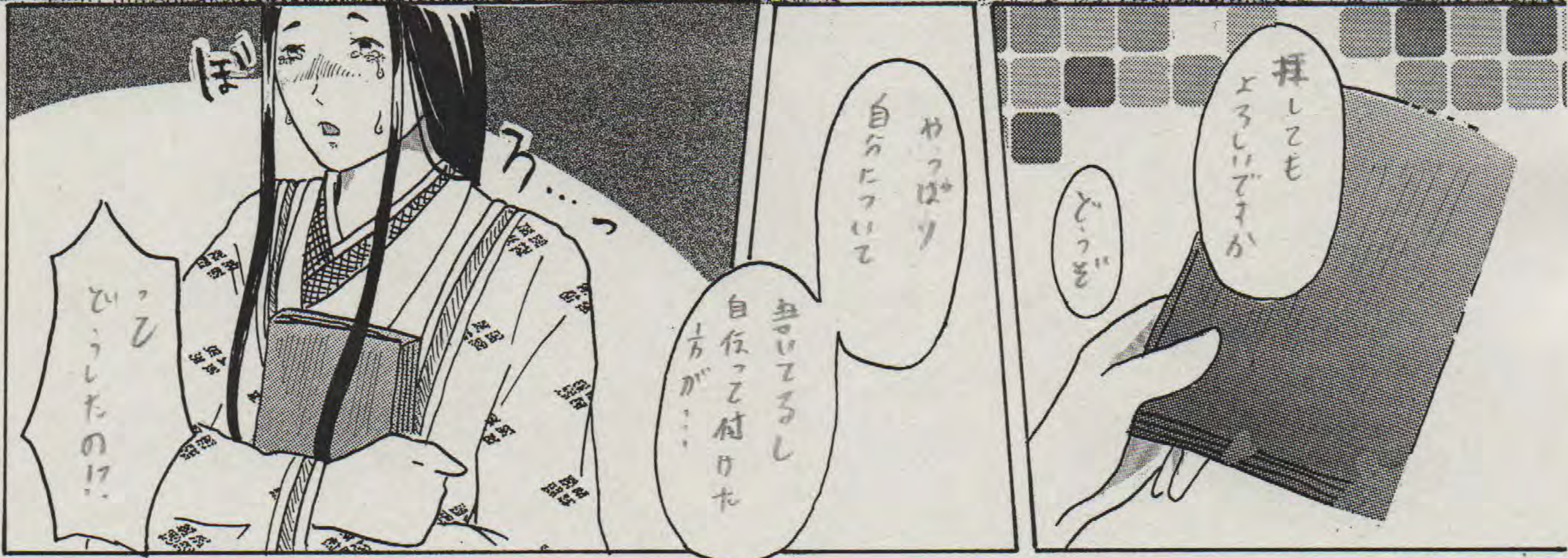




ただ、  
まねが  
決まらなくて

お母さん  
のひきね

一だは



ひっ  
ひったの!!

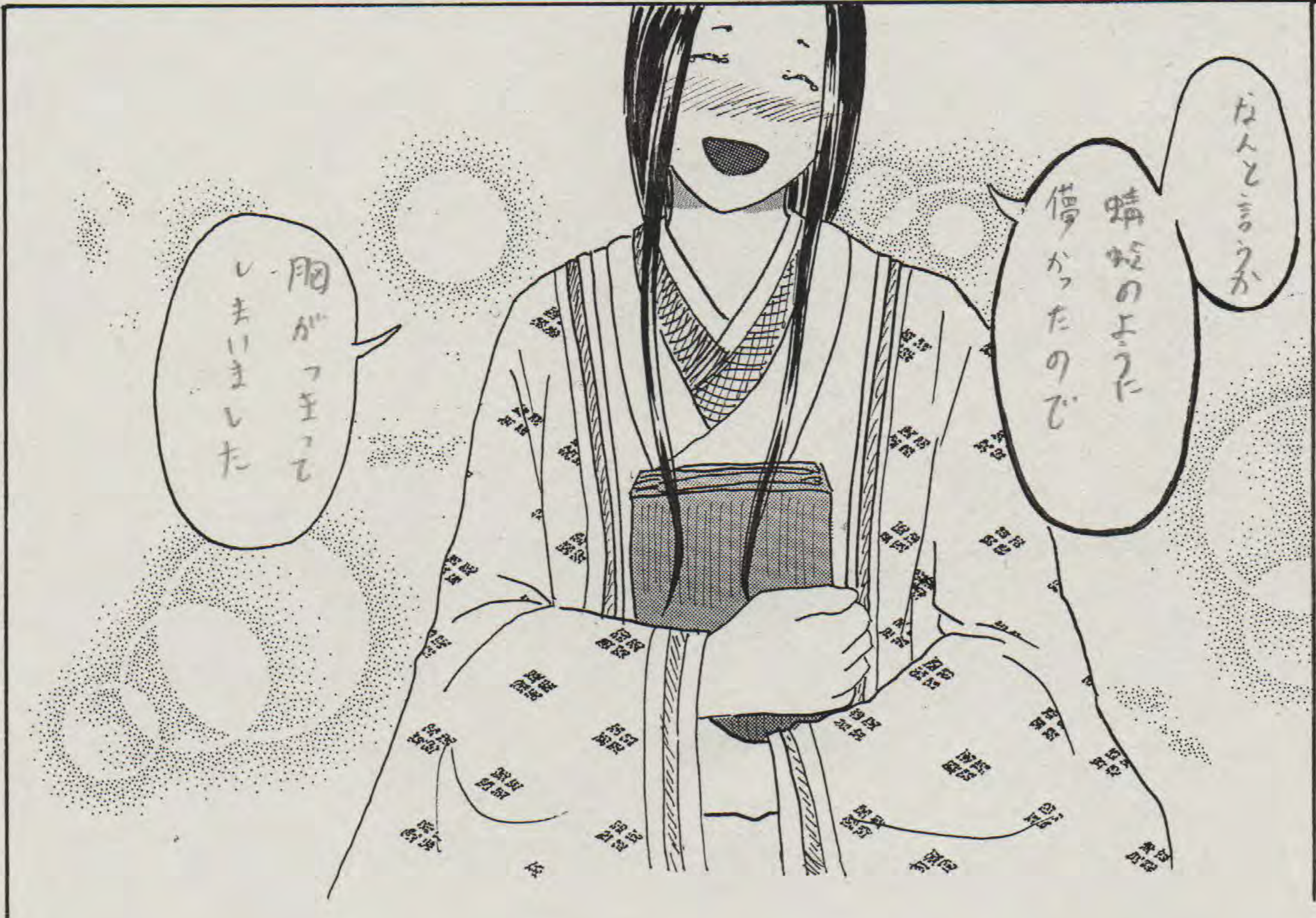
おいてるし  
自分で付けた  
よか...

わっほッ  
自分について



どっぞ

拜しても  
よろしいですか



胸が  
しまりました

なんと  
言おうか  
晴れたよ  
停ったので



